

WILD ROVER CREW
DOSHISHA
UNIVERSITY
ROWING CLUB
YEARBOOK 2015.11-2016.11



力漕

vol.24

同志社大学
体育会ボート部



- | | |
|--|---|
| <p>02 戦績ハイライト
02. 第69回朝日レガッタ
05. 平成28年度関西選手権競漕大会
07. 第43回全日本大学選手権
10. 第94回全日本選手権大会</p> <p>12 2017年度ボート部練習計画</p> <p>13 2回生の視点から見た同志社大学ボート部</p> <p>14 統制・主務から</p> <p>16 艇友会インタビュー
金澤重光先輩(昭和45年卒)・河畑宣伸先輩(昭和52年卒)</p> | <p>20 艇友会だより</p> <p>22 卒業生の言葉</p> <p>25 2017年度現役部員紹介</p> <p>30 コーチングスタッフ紹介</p> <p>32 戦績データベース</p> <p>38 平成28年度ボート部にご支援いただいた皆様</p> <p>39 編集後記</p> |
|--|---|

いつも艇友会の皆さまには、ボート部の活動のみならず、現役生の就職活動支援など、いろいろな側面から温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、ボート部は125周年を迎えることができました。京都ホテルオークラで行われた祝賀会には、総長、学長をはじめ、多くの大学関係者、体育会関係者、関西のボート関係者、艇友会の皆さまにご参加いただき、盛会裡に終えることができました。また、今の時代に相応しい125周年記念誌『同志社ローイング125年』も発行していただきました。そこでは、新島襄先生の直筆英文日記から、『In the afternoon I had quite an experience in rowing a boat.』と、ボートを漕いだということが記された日記が発見されています。

こうしたボート部の伝統を後世に伝える事業は、艇友会会長や幹事をはじめ、艇友会の皆さまの献身的なご尽力がなくては、成しえないものであります。本当に心より感謝申し上げます。

現役生も祝賀会に参加し、多くの方々からご支援、応援をいただいていること、さらには、そのように多くの方々からご支援、応援

『力漕』vol.24 発刊に寄せて



同志社大学体育会ボート部
部長

志賀 理

をいただけるように諸先輩方が築き上げてこられたボート部の伝統を実感したことを思います。ボートに対する取り組みや決意を新たにしたいと思っています。何より生活面においても、自身の軽率な行動がご支援いただいている多くの方々に迷惑をかけることになるということも認識できたと思います。

現在、ボート部では新4年生から新2年生で漕手、マネジャーを含め70名を超える部員が意欲的に活動しています。先輩、後輩問わず、お互いがライバルとして切磋琢磨し、さらにボート競技の高みを目指すという雰囲気も築かれており、それが今後の結果につながっていくものと期待しております。しかし、大所帯であるがゆえに、部の運営面などで多くの課題も生じています。この伝統を実感した部員ならば、そのような課題を自分たちで考え、乗り越えてくれるものと信じております。

最後になりましたが、創部125周年を迎えるにあたって、艇友会の皆さまには、多くのご寄付を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。どうか今後ともなお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

Beef or Chicken?

Tea or Coffee?

Rice or Bread?



どっちもという選択。

「3大疾病保険金」と「継続サポート年金」で、
所定の3大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)に備えます。

ニッセイ 5つ星
継続サポート3大疾病保障保険付プラン

※ 3大疾病保険金の支払事由該当日の毎年の応当日に生存されていた場合、継続サポート年金(最大4回)を受取れます。
※ ご検討にあたっては、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり一定款・約款」を必ずご確認ください。



2016.5

↓
2016.11

戦績ハイライト

第69回

朝日レガッタ



2016年 5月1日～4日

於：琵琶湖漕艇場



C：桑原康彰
S：阿部正典
7：大森健太
6：櫻間達也
5：黒田宗一郎

4：中來田悠介
3：石田大知
2：田井哲朗
B：糸魚川宗志

レース No.191 決勝 (500m)

レーン	クルー	着順 500mタイム
①	大阪市立大学 薫風	4 1:30.92
②	明治安田生命	3 1:27.83
③	中部電力	1 1:27.12
④	東レ滋賀	2 1:27.42
⑤	同志社大学	5 1:31.20
⑥	慶応義塾大学	6 1:32.64

予選で明治安田生命と慶應義塾大学を下し、東レ滋賀に次ぐ2位と予想以上の結果を予選では残せた。目標であった2分50秒も出すことができ、クルーの雰囲気は予選にして最高潮に達した。周りからの賛辞が止むことはなかったが、クルー一同翌日以降の準決勝、決勝で結果を出すこと。そしてユニフォームとファイナル周りの課題を修正することに集中できていた。一切油断することなく、準決勝では盤石に中部電力に次いで2位通過を決めた。その日もまだ課題の改善は見られなかったため、決勝当日の朝に確認するなど細部を怠らなかつた。ただ決勝は荒波でレースが500mに変更になった上、発艇時間の大幅な遅れにより、クルーの中に低体温症になる者が現れるなどで、結果5位に終わってしまった。言い訳はできないが、まだ上へ行けたはずだった。次に同じ状況になった場合、二の舞を演ずることはできないと、今後に向けて貴重過ぎる経験ができた大会だった。

(桑原 康彰)



C：津田邦泰
S：三井敏匡
3：原田遥大
2：澤駿太
B：久保剛

予選のスタートでは隣の瀬田漕艇クラブと並んでトップ争いをしていたが、波の影響などで思うような漕ぎができず徐々に離されてしまった。崩す場面も多く、ラストスパートも思うように上がらなかつたため、6レーンの鳥取大学に差されそうになるギリギリのレースだった。不安であったクルーとしての経験値の低さが出てしまった。準決勝は龍谷立命館と強豪校と当たってしまったが、スタートの段階では1位で、500mまでは立命館と2位争いをしていた。しかし、立命館にも徐々に離されて、準決勝敗退という結果だった。パワーの面では強豪校にも劣らないが技術面でまだまだ劣ることがよく表れた試合だったと思う。もっと効率的な漕ぎを追求していきたい。

(三井 敏匡)

レース No.159 準決 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	鳥取大学 駿風	3 3:36.62
②	大阪大学 A	5 3:41.52
③	立命館大学	2 3:32.47
④	龍谷大学	1 3:27.94
⑤	同志社大学 A	4 3:39.61
⑥	同志社大学 B	6 3:58.38

予選…結果は2着。3000m地点ですでに大きく出られたのが準決勝進出の決め手となったと思う。しかしレース終盤、COX籠重のコールがクルー全員にうまく伝わらないというトラブルが起き、それまで1艇身差だった1着の阪大に大きく艇差をつけられてゴールとなってしまった。スパートが強みのクルーであるが故にここで勝ち切りたかつた。準決勝…結果は6着。落ち着きを失ったレースになってしまった。スタートで全艇に出られ、焦ってしまったのが敗因であろう。やはり他艇が常に見えないレースは非常に辛かつた。結局立て直すことはできず、終始6着のま



C：籠重航
S：村田真哉
3：横田颯一郎
2：藤原駿也
B：松本直弥

レース No.136 準決 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	鳥取大学 モッカ	6 4:03.79
②	大阪府立大学 ネプチューン	4 3:57.92
③	関西学院大学 A	3 3:49.06
④	品川 リフラクトリーズ	1 3:36.67
⑤	同志社大学 A	2 3:45.65
⑥	大阪大学 B	5 4:00.25

予選、準決勝と安定しないコンディションに振り回されるレースとなってしまった。琵琶湖漕艇場は朝の静水の状態から段々と波が始め、昼にコンディションの状況が一番悪



S：古賀寛之
B：星野夏貴

まゴールとなった。クルーリーダーの私や、COX籠重を中心にしっかりと立て直すことができなかったことが悔やまれる。全体を通して…予選を1位通過できなかったことが決勝進出を決めきれなかつた原因だと考える。勝てる、または勝たなければいけないレースできつちり勝てるクルーでなければ、上には進めない。勝負強いクルーになるためには何が必要なのか考えるべきだと感じた。

(横田 颯一郎)



S：宮田将平
B：大谷文則

くなる。午前中は比較的波が穏やかであるが、今大会では風も出ていて終始荒れていた。練習では目標タイムである3分20秒にあと3秒というところまでできていたので、試合で目標タイムを切ることは十分可能であると思われる。しかし、コンディションが悪化した時の対応力の差が今回の敗因であると思われる。常に最悪の状況を想定して対応する力が必要だと感じた。

(古賀 寛之)

レース No.140 準決 5 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	京都大学 C	5 3:51.80
②	鳥取大学 B	3 3:40.38
③	トヨタ紡織 C	1 3:25.20
④	龍谷大学	2 3:30.98
⑤	大阪府立大学 天鶴	4 3:48.29
⑥	同志社大学 B	6 3:57.33

(宮田 将平)

らいまで隣のレーンの府大に半艇身出られている状態が続いていて、京大も横に見えたので競り勝ちたかつたが、400mを超えたあたりから波が荒れ出し、蛇行を繰り返してそこからリズムが崩れてしまつて、他の2艇にそこで差を開けられた。さらに蛇行のせいで、ゴール付近でパイコしてしまい腹を切ってしまった。



S：岡本晃壽
B：北野裕樹

予選は琵琶湖漕艇場特有の荒れたコンディションの中でのレースでした。スタートで大阪府立大学のレーン侵害により少し蛇行しリズムがうまく掴めず少し出遅れ、650m地点でストロークが艇のローリングの影響でグリップを離してしまい、一瞬艇が止まるとい

レース No.141 準決 6 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	琵琶湖 ローイング CLUB	4 3:54.37
②	広島大学「端流」	2 3:33.16
③	トヨタ紡織 B	1 3:26.50
④	岐阜経済大学	3 3:40.27
⑤	同志社大学 C	5 3:59.52
⑥	山口大学 B	6 4:06.17

うハブニングがあつたが、そこでリズムを切り替えることができ岡山大学をかわすことができ2着で目標の準決勝進出を果たしました。他艇との競り合いの中、離れず勝負所でかわすことができたことが良い結果に繋がりました。準決勝も荒れたコンディションでのレースとなりスタートした瞬間沖からの風により艇が大きく岸側のレーンに流されてしまったことにより大きくスタートで出遅れ、終盤1艇をかわすものの5着。出遅れはしたものの準決勝進出したクルーとは大きく推進力で差をつけられる結果となりました。シーズン初戦冬季の成長と今後の課題が明確となったレースでした。

(北野 裕樹)

練習不足によりコンスタントが懸念材料だったので、スタートをいつもより落とし、R36で漕いだ。しかし、予選に続き2位でコンスタントに入ることができた。1300mまでは2位と1艇身あったが、徐々に追いつき1500mで並んだ。2位以上になる必要があったので、スタートを試みたが1800mで上半身が動かなくなり、オールを2回取られている間に3位に後退した。1年4ヵ月ぶりとはいえ、準決勝に上がれるところにいただけに悔しい敗戦となった。腰の調子が上がらず、乗艇・ウェイト共に満足にできない状態で挑んだが、上半身を鍛えられると勝負でき



平成28年度 関西選手権 競漕大会

2016年 8月27日～28日
於：大阪府立漕艇センター

レース No.64 敗復 1 組

レーン	クルー	着順 1000mタイム
2	中田(松山大学A)	3 4:04.78
3	高橋(山口合同ガス)	棄権 -
4	徳森(岐阜経済大学)	1 3:44.27
5	平田(同志社大学A)	2 3:55.63
6	榎本(滋賀医科大学)	4 4:10.13

目標は準決勝進出、予選ではスタートで完全に出遅れたのでスタートから勝負を仕掛けよう意識してレースに臨んだ。スタートでは岐阜経済大学とならんで抜け出したが、スタートスパートが終わった時点で半艇身ほど出られており、ずるずると離されていった。500m手前でミドルスパートを入れてからは艇も安定して艇速も上がっていき少し詰めることができたがスタートで空いた差が致命的でそのまま2着でゴールした。今大会で痛感したのは上位クルーのトップスピードに乗せるまでの早さだ。とにかくスタートで艇を立ち上げて相手より出なければ決して勝つことはできないと改めて思い知らされた。

(平田 耕一)



レース No.75 準決勝 5 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
1	立石(岡山大学)	4 7:51.71
2	井原(瀬田漕艇クラブA)	3 7:44.59
3	木村(トヨタ紡織B)	1 7:23.55
4	井出(今治造船)	2 7:41.22
5	岡田(大阪工業大学 翔風)	5 7:53.32
6	北野(同志社大学C)	6 8:05.62

予選ではスタート6本がうまくいかずに蛇行し、ブイに接触するなどして大きく出遅れる形となったが、コンスタントレートを普段より2枚高く追いつけることができ、結果目標の8分を切ることで、次の敗復に繋げることができた。敗復ではスタートで前に出ることが成功し、相手との距離を測りなが



レース No.40 敗復 3 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
1	佐武(同志社大学F)	3 8:14.56
2	小林(広島大学)	4 8:18.68
3	徳森(岐阜経済大学A)	1 7:50.76
4	中村(関西学院大学B)	2 8:08.81
5	紫竹(横浜漕艇ちちく)	6 8:33.68
6	六野(名古屋大学C)	5 8:29.90

ることが分かったので、様子を見ながら少しずつ取り組んでいきたい。

(佐武 宏哉)

レース No.66 敗復 3 組

レーン	クルー	着順 1000mタイム
2	宇治川(島根大学)	3 3:55.72
3	松坂(同志社大学B)	2 3:55.28
4	能勢(大阪大学A)	1 3:46.34
5	仲尾(横浜漕艇NCC)	4 4:01.04
6	丹下(桜門艇友会・四国)	5 4:08.22

当初課題としていたスタートスパートからレートを落としすぎないで漕ぐことは成功し、コンスタントレートを高くキープして進めることができた。昨年度までのベストを更新することはできたが、ターゲットタイムにはあと3秒届かなかった。原因としてはレートを高く保とうとするあまりハンザウェイとセットの境界が曖昧になり、体重を前に返し切れないうまふワードしてしまっていたことが考えられる。上体が立っていると前々から言われていたことが顕著に現れ、心地よいリズムで漕ぐことができなかったため、あと一步スピードに乗り切れず敗北してしまっ

(松坂 滉)



レース No.45 敗復 2 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
1	新田(神戸ポートクラブ)	4 9:09.09
2	高瀬(同志社大学)	3 9:05.24
3	高島(北陸電気工業)	1 8:28.30
4	岡田(鳥取大学)	2 8:57.77
5	中ノ瀬(大阪市立大学A)	5 9:23.28

今年も昨年に続きシングルスカルで出場させてもらいました。しかし、順流のラフコンというこでフィニッシュしてからのオールの乗せがうまくできずガタガタでした。情けないことに波があると真っ直ぐ漕ぐことができず思うようにスイスイと漕げなかったです。また最後の方はオールを握る力が残っておらずラストスパートもあり上げられませんでした。今後の課題としては、グリップを握りすぎず腕に力を入れすぎない余裕のある漕ぎ

(高瀬 絵留萌)



らレーンを通り直ぐに漕ぐことに集中したレースを展開することができ2着で準決勝進出を決めた。予選、敗復で60艇中32艇が準決勝に進出。準決勝、スタートから2艇に食い下がることはできたが1200m地点のミドルスパート以降で離され敗退した。(北野 裕樹)

レース No.144 準決 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
1	同志社大学	4 4:10.69
2	大阪府立大学 階	6 4:24.38
3	立命館大学A	3 4:06.97
4	明治安田生命A	1 3:58.16
5	京都大学B	5 4:21.33
6	筑波大学A	2 4:04.83

この朝日レガッタからシーズンが始まり、あつという間に過ぎてしまおうと思うが、同じ過ちを繰り返さぬよう今回のレースを活かしていきたい。

(齋藤 暢子)



レース No.80 準決 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
1	大阪府立大学 飛鶴	5 7:28.17
2	名古屋工業大学	4 7:21.30
3	トヨタ紡織A	1 7:03.70
4	同志社大学	3 7:06.50
5	富山国際大学A	2 7:06.08

予選を組1位で上がっていたものの、タイムではトヨタ紡織、富山国際大学に負けていたので厳しいレースになることが予想された。スタートでは予想どおり同志社とトヨタ紡織が抜け出した。第1Qまで並んでいたがそこから離され始めた。じりじり追いつけてきた富山国際に1000m付近で並ばれた。お互いスパートを掛け合い第3Qを通過し、第4Qに入ったときには少しだけ出られていた。そこから、ラストスパートを入れた。かなり艇は伸びたが差し返せず3着でゴールした。2位と0.4秒差、1位と3秒差だった。勝ちきれず悔しかった。インカレまでの間に勝てるクルーになる。

(平田 耕一)



レース No.70 敗復 3 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
1	古澤(京都大学)	6 4:26.46
2	北村(大阪歯科大学)	4 4:20.95
3	門田(大阪大学)	1 4:08.35
4	猪飼(瀬田漕艇クラブ)	2 4:12.89
5	高瀬(同志社大学)	3 4:16.88
6	中村(岡山大学A)	5 4:25.33

今大会の目標は予選突破だったが、結果は予選敗退に終わった。スタートは予選も敗復も高レートを出すことができ、周りに艇が見える位置についていた。予定していたレートは32だったが本番は33で漕ぐことができたハイレートメニューの成果を実感した。目標タイムとして設定した4分20秒を敗復で切ることができ、20秒近く本番までに縮められたのは進歩だと思う。今回の結果を前向きに捉え、次の大会では勝ち上がれるよう自分に必要な力を見極めながら練習に努めていきたい。

(高瀬 絵留萌)



レース No.91 準決 3 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
②	関西大学	3 6:43.47
③	大阪工業大学 A	2 6:41.35
④	龍谷大学	1 6:38.39
⑤	同志社大学 B	4 6:54.42

今大会での目標は決勝進出、6分50秒であった。しかし、クルーのエルゴ値やこれが初のレースのCOX山口の経験値など課題が多いというのが現状であった。しかし、各々が課題に取り組み克服を図っていた。その結果、少しずつではあったが大会が近づくとつれてクルーとしての一体感が増していくのが実感できた。結果として決勝には惜しくも進めなかったが1レースごとに成長出来、中でも敗復では予選の時7秒差で負けていたクルーに競り勝つことも経験できたので、今大会は負け続けたというよりも良い経験が出来た印象が強かった。
(糸魚川 宗志)



C: 山口弘人
S: 三井敏匡
3: 横田颯一郎
2: 大谷文則
B: 糸魚川宗志

第42回

全日本大学選手権



2016年 9月22日～25日
於：戸田ボートコース

対校 M8+



C: 桑原康彰
S: 阿部正典
7: 黒田宗一郎
6: 櫻間達也
5: 大森健太
4: 中來田悠介
3: 久保剛
2: 田井哲朗
B: 石田大知

レース No.83 準決 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	同志社大学	5 7:13.32
②	新日鐵住金B	2 6:49.63
③	関西電力美浜	1 6:42.85
④	愛媛大学	4 6:58.31
⑤	立命館大学	3 6:55.07
⑥	近畿大学A	6 7:15.43

予選では600mほどまで鳥取大に食らい付けたが、そこから急に荒れだして一気に離されていった。そこからは切り替えて準決に備えて温存することにした。準決では自分の航路の確認不足のせいで、隣のレーンに完全に侵入してしまいタイムロスしてしまった上に、リズムが崩れてしまい、しばらく重いリズムが続いた。ラストスパートでしっかりリズムを取り戻して、艇速が上がったことはすごくよかった。近大に最後競り勝ったが、レーン侵害がなければもっと早い段階で抜いていたし、愛媛や立命にももう少し食らい付けたので非常に悔しい。
(宮田 将平)



S: 岡本晃壽
B: 宮田将平

レース No.87 準決 2 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	富山国際大学B	4 7:46.59
②	松山大学	5 7:55.03
③	愛媛選抜	1 7:32.97
④	立命館大学A	2 7:33.67
⑤	同志社大学	3 7:45.42

いつも同じ瀬田川で練習している他大学と競えることができるということもあり、どのくらい通用するか楽しみでした。しかし、結果は準決勝敗退。思い描いていた通りにはいきませんでした。スタートではクルーの強みである馬力で飛び出せたものの、練習時の不安点であったコンスタントに入った際のレートが思うように出せず、1000mを超えた時には大きく離されてしまいました。また、敗者復活戦でのラフコンにも上手く対応できず、波や風を想定した練習が不足していたために力任せの漕ぎになってしまいました。しかし、クルーを組んで実は初めて自分たち以外のすべての艇が視界に入ったままゴールできたレースでもありました。改善点はもちろんのこと、評価点も見つけることができたので、来年、再来年と大い



S: 西田樹乃
B: 齋藤暢子

レース No.98 決勝 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	同志社大学	4 6:27.17
②	立命館大学	5 6:28.80
③	富山国際大学	1 6:07.09
④	岐阜経済大学	3 6:19.89
⑤	龍谷大学	2 6:09.07

予選ではかなり余力を残してゴールすることができたので、2本目の割に体力面に不安はなかった。他大学のクルーが強敵であることは初めから分かっていたので、スタートから全力で出し続けた。作戦は功を奏し、懸念していた艇の蛇行もほとんどなく、1000m地点で途中腹を切った立命館以外ほぼ並んだ状態で通過した。しかしそこから徐々にクルー内でリズムにズレが生じ、上手くレートを出せなくなつた結果蛇行し、5位の立命館に差を縮められながらもなんとか耐え、4位でゴールした。2000mを安定して漕げねばならないと痛感したレースだった。
(松坂 滉)



S: 西川修真
3: 村田真哉
2: 中村魁
B: 松坂滉

に成長できる可能性が見えたとても貴重な大会となりました。
(西田 樹乃)

レース No.182 順位決定

レーン	クルー	着順 2000mタイム
②	坂田(熊本大学)	4 7:52.58
③	本間(仙台大学)	2 7:37.04
④	阿部(同志社大学)	3 7:44.86
⑤	斎藤(東北大学)	1 7:35.41

予選は雨や逆風、タイムは7分36秒だった。久しぶりに1発で予選通過したので気持ちよかった。終始艇の滑りや速さを感じながら漕ぎ切ることができたレースだったと思う。準決勝は残念ながらU23代表と当たった。当たりは悪いが楽しめた。特に前半飛ばしたわけではないが500mは1分48秒73、0・1秒差でトップ通過した。だが、800m地点の逆風で崩れてしまった。ここで相手がスパートを一気に入れた。1250mで立て直したが最終的に9秒差で負けた。この9秒は中盤後半の弱さが出たと思う。しかし準決勝のレー



阿部正典

レース No.103 決勝 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	関西大学A	4 6:06.03
②	同志社大学	3 5:56.63
③	一橋大学	2 5:52.54
④	大阪市立大学 薫風	1 5:51.84
⑤	大阪大学	6 6:14.07
⑥	名古屋大学A	5 6:06.67

あったりと「気持ち」の問題があげられます。スポーツ心理学的には結果よりもパフォーマンスへの意識を大きくすることが、こう言った気持ちの問題への対処として有効であるそうです。
(中來田 悠介)

レース No.102 決勝 1 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	同志社大学A	5 6:43.82
②	大阪工業大学A	6 6:48.83
③	龍谷大学	1 6:21.50
④	チーム愛媛	2 6:23.86
⑤	京都大学	4 6:35.77
⑥	一橋大学	3 6:34.28

予選、0・6秒で競り負け敗者復活に回りましたが、順当に勝ち上がり決勝まで進みました。クルー目標であった表彰台を達成するために、決勝では前半から勝負をかけた。1000mまでは3着につけていましたが、クルーの課題であった後半で他艇に差をつけられ、粘ることができずそのままという結果に終わりました。今後、クルーの最大の課題であるコンスタント力をさらに磨き、並んだ時に勝ちきれぬクルーになれるよう精進します。
(松本 直弥)



C: 津田邦泰
S: 澤駿太
2: 原田遥大
3: 藤原駿也
B: 松本直弥

レース No.101 敗復 B 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	東京医科歯科大学	5 7:19.58
②	同志社大学	3 6:44.40
③	慶應義塾大学	2 6:42.57
④	岐阜経済大学	1 6:35.02
⑤	新潟大学	4 7:01.12

今回、特に大事にしていたのは戸田入りしからの調整である。クルーには調整Ⓐ休みという考えにだけはしないよう常に共有しあった。そのため、戸田入りしてから常にもレースを想定して、緊張感を持って取り組めた。レースでは慶應に負けたものの、1500mまでは水を開けることができた。それ以降はクルーの体力の低さが出たが、常に両クルー、コールを掛け合うという非常に接戦した展開であった。今年の数秒で負けた悔しさを来年は晴らしたい。(星野夏貴)



S: 中村魁
3: 岡本晃壽
2: 宮田将平
B: 星野夏貴

レース No.180 順位決定

レーン	クルー	着順 2000mタイム
②	同志社大学	3 7:22.02
③	日本大学	1 7:16.91
④	中央大学	2 7:20.99
⑤	東京経済大学	4 7:25.05

予選、敗復、準決、順位決定と日を追って調子を上げていった。予選、敗復ではスパートの数が全体的に少なく、特に前半でコンスタントに入ってから離される展開が多かった。準決、順位決定で調子を上げていった原因としてはその2点を反省点として踏まえ、スパートの回数を倍にしてコンスタントでもスパートで勝負できるようにクルー内で意識統一した。スパートには自信があり、初日と最終日を比較するとレートが2枚も上がっていることから、強みを最大限に活かすことで全国と戦えることが確認できた。(古賀寛之)



S: 古賀寛之
B: 平田耕一

第56回 オックスフォード盾 レガッタ



2016年 9月24日~25日
於：戸田ボートコース

戸田入り後、クルーは調子を落とし、艇の左右への振れ、全体のばらつきが大きくなっていった。そのまま予選のレースに臨んだが、今



C: 桑原康彰
S: 櫻間達也
7: 大森健太
6: 藤原駿也
5: 黒田宗一郎
4: 中來田悠介
3: 久保剛
2: 田井哲朗
B: 石田大知

レース No.146 準決 D 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
②	早稲田大学	1 7:43.47
③	鳥取大学	3 8:01.53
④	仙台大学	2 7:55.81
⑤	同志社大学	4 8:03.96

インカレ3日目の準決勝は関西選手権で戦った鳥取大学、新人戦で敗れた仙台大学、敗復で圧倒的なタイム差がある早稲田大学の4艇によるレースでした。0~500mがキープポイントとなることを見越し仕掛けましたが、スタートして500m間から差ができ、途中まで3位だったものの、最後は仙台大学のスパートに食いつけずに4着でゴールしました。私達と全国トップクラスのクルーとの実力の差を見せつけられたレースでした。ですがその一方で自分たちの弱さと強豪校との差異を見つけることもできました。次に全国規模の大会で戦うまでにその弱さを強みに変えられるようにします。(齋藤暢子)



S: 西田樹乃
B: 齋藤暢子

1回生主体、戸田経験者1人。非常に経験が少ないクルーであった。また、大会1週間前に体調不良や全開放流の影響でまったく乗艇できず、2000mも1回しか測定せずに戸田に行くことになった。レースアップの時点で戸田



C: 山口弘人
S: 木村俊貴
7: 松坂晃
6: 安藤優作
5: 藤原高
4: 山本幸之介
3: 中澤正浩
2: 大谷鋭周
B: 末次真夏

レース No.116 敗復 B 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
②	同志社大学	3 6:17.44
③	一橋大学	1 6:00.93
④	京都大学	2 6:05.55
⑤	滋賀大学経済学部	4 6:29.50

年の武器であったスタートでも出られ、そのままスルズルと他艇に出られまくったのいい所なしでレースを終えた。当日のミーティングによりこのまま終わるわけにはいかないと午後15時00分、500m×2、500m×2を行い、修正を図った。全てSRはレースベイスではなかったものの、レースを上回るタイムであった。これで大丈夫と翌日に臨んだが、散々な結果に終わった。メンタリティが足りていなかった、実力が出せなかった、そもそも実力がこんなもので

レース No.108 敗復 D 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
①	広島大学	5 7:16.10
②	同志社大学	3 7:02.80
③	成蹊大学	1 6:59.57
④	大阪工業大学	2 7:00.14
⑤	金沢大学	4 7:09.27

東日本選手権と同じクルーで臨み、シーズンを通して課題も変わらなかった。第3Qからの失速を課題とし、練習してきたが克服し切れなかった。どのレースもスタートレートは40~42。そしてコンスタントを36で入ったが失速する地点では32にまで落ち込んでしまった。レートがすべてではないが、意図せずにレートが落ちるということは、水中を落としてしまっているということである。また、今までと違い、スタートでトップにいないことがあった。スタートでの貯金がなく、詰め寄られ焦るというサイクルになってしまっていた。(津田邦泰)



C: 津田邦泰
S: 澤駿太
3: 原田遥大
2: 三井敏匡
B: 松本直弥

レース No.167 敗復 A 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
②	早稲田大学理工漕艇部	4 7:24.44
③	神戸大学	2 6:58.10
④	大阪大学	1 6:49.09
⑤	同志社大学A	3 7:10.87

の艇の多さ、雰囲気にも飲まれている感じがあった。予選は苦手のスタートで出られ、そのまま離れまくった歯が立たず、敗復では神戸大学と1000mまで並んでいたものの先にスパートをかけられついていくことができなかった。今回は自分たちの実力不足を痛感するとともに、普段の練習で不安要素をなくしていくことが重要だと改めて感じた。(木村俊貴)



あった。クルー内でもさまざまな意見があるものの、確実に言えるのは、闘えるクルーではなかった、勝負に臨むクルーでなかったということである。対校艇として、このようなクルーで臨んでしまったのはリーダーである自分すべての責任があり、痛恨の極みである。(田井哲朗)

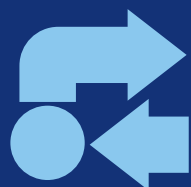
レース No.97 敗復 B 組

レーン	クルー	着順 2000mタイム
②	同志社大学	3 7:33.72
③	一橋大学	1 6:48.30
④	京都大	2 6:53.96

練習でのコンスタントでは、艇は安定し、スピードも出せていましたが、試合ではコンスタントでの艇の安定感が欠けてしまい、なかなかスピードを速くすることができなかった。スタートでのスパートの高レートからコンスタントのレートへの切り替えが上手くいかず、艇を崩してしまい、クルー全体が焦り、コンスタントを高いレートで漕ぐ予定だったが、艇が崩れた結果、なかなかレートを出すことができなかった。船を崩したとき、クルーが焦ってしまったときの対策を作っておくべきだった。(大谷文則)



S: 村田真哉
3: 高野敦
2: 大谷文則
B: 横田颯一郎



株式会社 王子製作所

船舶用機装部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
TEL (0794)37-1600(代)
FAX (0794)35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
TEL (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162

レース No.169 敗復C組

レーン	クルー	着順	2000mタイム
②	同志社大学B	3	6:55.49
③	成蹊大学	2	6:32.91
④	キラーホエール	4	7:11.86
⑤	一橋大学B	1	6:30.80

予選はスタートでうまく艇を立ち上げるこ
とができず大きな遅れを取り、その状態から
コンスタントの自力で2艇を差し切りまし
た。敗復ではスタートで立ち上げること
は成功し、コンスタントでもレーンを一枚上
げて漕ぎきることができましたが、他校の上
回生クルーには及ばず敗退。準決勝進出のク
ルーとは力の差というものがあることが確
かになりました。しかし、他のほとんどの1
回生中心クルーにはタイムで勝っており、加
古川レガッタにつながる今後の課題とな
りました。

(北野裕樹)



C: 藤本亮
S: 神宮健輔
7: 生駒宏武
6: 北野裕樹
5: 田川凌大
4: 天谷大
3: 尾崎俊介
2: 中野知紘
B: 阪悠樹

予選については、終始一切出られることはな
いと確信しながらのレース運びとなった。しか
しここにおいても、終盤、艇速の落ちが気にな
ってはいた。

準決勝、トップスピードは随一との確信があ
ったため、先行逃げ切り、迫られる際に勝負
して逃げ続けようという出艇前に確認し臨んだ。ま
た他の3艇はインカレ表彰台のメンバーであ
ったため、一泡吹かせてやろうとクルーの士



S: 阿部正典
3: 田井哲朗
2: 糸魚川宗志
B: 中來田悠介

第95回 全日本 選手権大会

2016年 11月10日～13日
於：戸田ボートコース

はじめに、昨年の分析で大口を叩いておき
ながら、この結果に終わってしまい大変申し
訳ありません。体力値に期待できるクルーで



C: 津田邦泰
S: 櫻間達也
3: 黒田宗一郎
2: 藤原駿也
B: 石田大知

レース No.136 順位決定

レーン	クルー	着順	2000mタイム
②	中央大学	2	6:37.94
③	NTT 東日本	1	6:35.12
④	同志社大学	3	6:39.03
⑤	一橋大学	4	6:41.94

気は高かった。プラン通り、スタートで先行し、
1000mまではリードを保ったが、猛然と迫
る立教、日本をかわし切れず、最後はリズムの
ずれもあり、ヘロヘロでゴールにたどり着くと
いった様相であった。しかし、1000mまで
のタイムは全体でもトップであった。順位決
定、準決勝の時点ではNTTとのタイム差は10
秒近くあったが、ここを倒すつもりでスタート
から猛然と攻める。しかし地力の差から
1000mの時点で並ばれる。序盤のアタック
もあり、レーンの離れた中央にも先んじられ3
着7位入賞となった。

(田井哲朗)

レース No.78 敗復C組

レーン	クルー	着順	2000mタイム
②	同志社大学	4	7:07.10
③	東京大学	1	6:50.44
④	大阪大学	2	6:57.02
⑤	茨城大学	3	6:58.11

あったため、レーンを抑え、後半型のレース
プランで臨んだが長所を活かせず不完全燃焼
に終わった。原因は、全日本においてこの体
力値は当たり前であること。低く見積もった
相手に頭を取られ、これといった勝負をかけ
られずに2000mを終えたことである。付
きフォアでの経験上、ある程度結果を残せた
レースではすべて、頭を取られなければ負けと
意識統一していた。逃げるような形になるが、
今大会での思いを来年爆発させてくれること
を期待する。

(津田邦泰)

2017年度

ボート部 練習計画



主将
松本 直弥

はじめに

まず、今シーズンの練習計画を立てる際に最も重視したのが、「個々の徹底的な強化」である。それは、体力、フィジカル、rowing技術はもろろのこと、勝つために今自分たちに何が不足していて、何をしなければならぬのかを『考える力』が必要であると考えた。与えられたものではなく、自分たちで考え抜いて出したものこそ、自らの血となり肉となる。そこで、今シーズンは川口コーチをはじめ、岩井コーチ、堀田コーチの科学的理論に基づいたトレーニングメニューをベースに、「個々の徹底的な強化」に励む。

Rowing

昨シーズンを通して最も大きく挙げられた課題が『艇を運ぶ技術の欠如』である。体は大きくなり、パワーも上がったが、それを艇速につなげられなかった。もろろのことだが、艇を運ぶ技術は乗艇練習でしか体得できない。

た出力をもとに、本格的にレースペースの練習にも取り組んでいく。

また、昨年度同様SNSサービスを活用し、サポート陣が中心となって情報、動画を共有し、PDCAサイクルを確固としたものに努める。ただむやみに漕げばいいというものではない。与えられたメニューをただこなせばいいというものでもない。練習の量、質はもろろのこと常に艇を進めるにはどうすべきかと考えながら、真摯にボートに取り組んでいく。

Ergo

Strengthメニューと併用して行う。冬季中は、C/P系、解糖系、酸化系からなるATP、筋肉を動かす時のエネルギー、アデノシン三リン酸を生成するミトコンドリア量を増やすための500m×9本のworkoutや全身に酸素を運ぶ毛細血管の表面積拡大のための4500m×3(SR-free)などに取り組む。また、乗艇前のフォームチェックや出力確認にも使用している。シーズンに入ると、さらに強度の増したトレーニングに取り組む。

Strength

昨年度同様、岩井コーチ、堀田コーチ指導のもと週3回の練習に取り組んでいく。コーチ陣、トレーナー陣と連携を取りながら、練習意図、正しいフォーム、レスト管理などを徹底し、どこ筋肉を何のために鍛えるかを認識して適切なトレーニングを行う。冬季中は、筋肥大

を目的に高重量を扱い、シーズンに入るとエネルギー供給を目的としたスピード系メニューにも取り組んでいく。さらに、記録管理を行うことで、前回の自分の記録と比較してどれほど自分が成長しているか、また適切な重量設定が行えているかを選手自身が認識できるようにする。昨シーズンを通して、フィジカル強化に取り組んだが、まだまだ成長過程であり、より強く怪我をしないフィジカルを今年も作っていく。そして、単なる筋肉強化ではなく、Rowingの動きを意識して行うことでさらなるシナジー効果を狙う。

Nutrition

トレーニングをした上で、体を大きくするには食事、つまり栄養が必要である。今年も同志社女子大学生活科学部食物栄養科学科の片井先生に協力していただき、体水分、タンパク質、ミネラルなどを分析するInBodyの測定や月に1度マネージャーが片井先生と合同ミーティングを行い、食事の栄養価計算や栄養に対する知識を深める。そして、その知識を部内で共有しあい、普段の食事で不足しがちな栄養を積極的に取るように促すことでマネージャーだけでなく、選手自身が栄養に対する重要性をより考えるように努め、部内のアスリート意識をさらに高めていきたい。

2 回生の
視点から
見た

同志社大学 ボート部



2 回生
飯田 海舟

政策学部政策学科
滋賀県立
大津高等学校出身

素人集団が全国で勝つ。この目標がいかに難しい目標であるか、思い知った。特に悔しかったのが、加古川レガッタでの1回生主体の対校エイトでの敗戦だった。ローカル大会でクルー数が少ないにも関わらず、勝てなかった。自分らの実力はこんなものなのかと打ちのめされた。

ボートを漕ぐ上での基礎であるフィジカルを強化するため岩井さん、堀田さんをコーチとして招聘し、戦った昨シーズン。漕手のフィジカルは招聘以前よりも質を伴った練習を行い、フィジカル面では概ね成功を収めたかのように思える。エルゴでのスコアの伸びはまさにそれを物語っているだろう。

しかし、それでも勝ちきれなかった。小学校6年生からボートを始めた私から気づくことは、全員ではないが艇を進めることが下手であるということである。実際、他大学よりもエルゴスコアが勝っているにも関わらず、いざ水の上で並べると負けてしまうことがあった。要はフィジカルを効率よく機能させられていないということである。

では、なぜ艇を進めるのが下手なのか。私は大きくなった組織が弊害を及ぼしたと考える。漕ぎ方は各々異なる。人が増えれば増えるほど漕ぎ方は多様化し、統一させるのは

当然難しくなる。それにも関わらず、議論が雑になっている。恐らく、全員の意見を述べるのが面倒で、効率化を求め、上回生やクルーリーダーの言うことを丸呑みし、さっさと練習を終わらせることに焦点が置かれていたり、他の誰かが意見を述べてくれると任せっきりになっている部分があるだろう。

これらは普段の乗艇練習中やその後のミーティングで多く見受けられる。こうなると、本来伸びるはずであるう艇速まで到達しない。

けれども、私は大きくなった組織は強力な戦力にもなると考える。生かすも殺すも自分たち次第であるということだ。大事なことは「個」を主張し、議論し続けること。素人集団である同志社は、セレクションで選ばれた大学よりも艇を進めることが下手なのは自明の理である。だが、素人だからこそ各々気づけることがあるはずであり、また大きくなったことでその情報量は多くなる。それを議論することで、勝利への最短航路をたどる。これができれば他大学に引けを取らない大きなメリットとなる。

新体制となった今、「過渡期」からの「飛躍」を誓った。漕手、トレーナー、マネージャーの総力を結集し、番狂わせしてやる。

がんばれ、同志社大学!



共に運びます!
個性と絆を・・・
最高の熱量をもったあの場所へ

—信頼と実績の輸送—

広栄運輸株式会社

〒664-0006 兵庫県伊丹市鴻池 4-3-3

【お問い合わせ】

TEL : 072-779-7008 (代表)
FAX : 072-779-7117
Mail : kawamoto@koueiunyu.com
URL : <http://www.koueiunyu.com/>

主務から



4年生 能勢 政典

経済学部経済学科
私立同志社高等学校

誰が言ったか、「Rowing」は「building」だという。つまり、よりでかいビル（より速い艇速）を建てたチームが勝ちである。だとすれば、主務は現場監督だろうか。釘一つの打ち方にこだわるより、ビルが歪まずに、できるだけ高く真っ直ぐ建つようにこだわる必要がある（これはボートのコーチングにも同じ事が言え

る。些末なことにこだわってはいけない）。だからといって、細かいことを疎かにしているとその部分からヒビが入り、せっかくでかいビルが完成しても、少しの揺れで崩れてしまう。なので、細かいことは人に任せ、確実に遂行させる必要がある。

普通に考えて、でかいビルを建てるにはでかい土台がいる。ビルのでかさは土台にある程度比例すると言えるだろう。土台とは、ボートでいうところの「漕手の体」であり、『良い道具』である。漕手の体を作るには日々のトレーニングと飯と疲労回復（疲労が溜まれば怪我をする）、『良い道具』を買うには資金がいる。そしてその全てにマネージャーやトレーナーが関わっている。つまり主務は、でかい土台作りが全て上手くいくように取り纏めないとけない。

い。また、でかい土台の上に建物を積んでいくのはボートでいうところの漕手のテクニクである。テクニクを磨くには日々の練習、そしてコーチやCOXが鍵となるが、特に自分達のチームはコーチが平日に来られないので、どちらかというと自分達が中心にテクニクについて考える必要がある。そうになると、主務やトレーナーやCOXはテクニクを伸ばす方法を熟知している方が良い。ここでテクニクがどうこう話し出すと文字数が足りないもので割愛するが、つまりでかい土台を作るのにも高く積んでいくにも、マネージャーやトレーナー、そしてそれを纏める主務が必要不可欠だということである。

マネージャーやトレーナーは『土台をつくり、積み上げる』ためにできること全部やれば

いいのだ。栄養満点の飯でも、漕手にうまいと思わせて残さずに食わせることができたらいかに土台作りに貢献したことになるが、箸が伸びにくいような飯だと、結果的に±0になるかもしれない。そんなことをいっぱい考え出したらキリがないが、だからこそやりがいがある。マネージャーやトレーナー一人の力でレースの勝ち負けなどどうしようもない事などやっていればわかるが、答えのない、傍から見れば糞が付くくらいくだらねえことでも、毎日必死に考えて研究して観察してちよつとでも成果ができれば気分は最高じゃないか。そんな奴がいっぱいいるチームが結果的にでかいビルを建てるのだろう。日々繰り返し、の情性へのやるせなさを感じている貴方に少しでも分かって頂けると幸いです。

統制から



4年生 田口 夕侑乃

政策学部政策学科
私立岐阜女子高等学校出身

する漕手のための食事づくりや乗艇中のビデオ撮りをし、漕手が試合で勝利を掴むことを信じて全力でサポートしています。このようなサポートは、間接的ではありますが、部の強さを導く大切な役割です。

ですが現在、私たち同志社大学ボート部マネージャーはそれで満足するような集まりではありません。全員が「同志社大学ボート部という組織を強くするため」に、できることを日々考え、そして実践しようとしています。

私は、マネージャーが漕手のサポートだけでなく、自分たちも組織を良くするのだという意識を持って動くことによって初めて、「組織の成果に責任を持つ者」になるのだと思います。

ます。私が思う「成果に責任を持つ」とは、漕手の戦績が輝くような組織をつくりあげることです。それは、「ああ、だから同志社大学ボート部は強いのだ」と思われるような組織です。

組織の成果は、部の戦績だけで評価されるものではないと思っています。部で行っている取り組み、部が大切にしている価値やメンバーの雰囲気、そういったものも含めて組織の成果だと考えています。私たち同志社大学ボート部は、漕手もサポートメンバーも、大学生になって初めてボートに関わるという人がとても多い組織です。だからこそ、同志社大学ボート部にしかつけない組織の強さがあり、生み出せない成果があると思います。そして

私たちマネージャーは、そういった組織内での取り組みに対して一番考え、動くことのできる集まりだと思います。

今年度、過去最大人数となったマネージャーは、初めてマネージャー全体でのスローガンを決めました。「一（はじめ）」です。人数が多いからこそ、みんなで一つになり同じ目標を共有します。組織をより良いものにするために、今までやってこなかったことを「一」から始める勇気やチャレンジ精神を大切にします。一人ひとりが部における自分の役割に責任を持ちます。

そして、同志社大学ボート部員全員で、日本一の組織だと言われるような部を目指します。



Lumiebre

艇友会 インタビュー interview



金澤 重光先輩
昭和45年卒

本日はインタビューにご協力いただきありがとうございます。早速ですが、金澤さんがボート部に入ったきっかけは何ですか。

金澤先輩 高校時代は柔道をやっていた、極めようと思っていたんだけど、怪我をしてしまったことで行き詰まりを感じ、大学で柔道部に入ることに自信がなかった。それで他のクラブを探していて、当時私の身長が174cmでちょっと低いかなと思っていたけど、潔さんにオリエンテーションで誘われたのをきっかけに入部を決めた。自分自身もともと体育会系の人間だったので文化系よりも体育会に入るう思っていた。

現役当時にやりがいを感じたことや嬉しかったことは何ですか。

金澤先輩 対校が全日本で3位、2位、優勝してオリンピック出場、次の年も優勝というボート部の黄金時代だったから、試合に勝つ喜びを味わえたことが大きかった。

反対に、辛かったことや苦しかったことは何ですか。

金澤先輩 入った当時人数が多く、自分自身対校に乗りたいたいという気持ちが強かったがだんだんそれが難しいことだと分かってくる。対校に負けずに4年間終わるという立場は自分の中で踏ん切りをつけないと難しいところがありましたね。対校にはずれた立場で4年間続けたことは、社会人になってみれば我慢・辛抱強さが自信になっていましたね。

どのような気持ちを持って部活に取り組んできたのか。

いましたか。

金澤先輩 「優勝したい」という気持ちが強かった。対校とも並べて目標がはっきりしていたし、そういう環境があった。

ボートをやるうえで大事なことは何ですか。

金澤先輩 息を合わせる。それが一番大事。8人いてそのうち一人が体調を壊したりけがをして代わりの人が入っても息が合うとは決して限らない。これは艇に乗って体で覚えることだから、例えば当時なら、水上ロングで肩の力を抜いて漕ぐことを身につけた。力の強い人が8人揃ってもバラバラでは意味がない。今日は艇がよく走ったな。という感覚を大事にすることだと思うよ。

現在の部に関して何かご意見がありますか。

金澤先輩 人数が増えたのはいいことだと思っているんだけど、そのなかで対校に乘れない部員がどういう気持ちで4年間ボート部に携わっていくかということが難しいところだと思う。でも人数はある程度いいと良い8人をセレクトできないし。対校に乘れない立場になったときに僕自身もやめようと思ったこともあったが、マネージャーの立場になったことで、運営の苦しさなど分かったことも多かった。

マネージャーになったときのお話をお聞かせください。

金澤先輩 本当は漕ぎたい気持ちもあったけど、個人競技ではないスポーツの宿命という



ことで諦めた。あの多感な時期に同じ釜の飯を食ってきた仲間と離れる気にはならなかった。こういう人たちと別れたくない、こういう人たちのいる場所に身を置きたいと思った。当時は35名程度部員がいて食事作りは大変だった。一度餃子を作ったことがあった。お昼から作り始め、みんなが練習から上がってきたても全然できてなく、後輩に包むのを手伝わせたが食べ始めたのは9時を過ぎていたと思う。

たぶん1000個ぐらいは作ったと思うが、皆何も言わず待っていてくれた。腹が減ってた分、相当においしかったと思うよ。

自身の経験から、マネージャーはどういう存在だと思いますか。

金澤先輩 マネージャーは部の雰囲気盛り上げるのが役割だと思う。苦しい練習をしているなかでひとりひとりケアして見ている必要があるのではないかと。私も、鶏肉を食べないやつには怒ったりもしていた。現在の環境で心配しているのは、人数が多くて目が行き届かなくていつの間にか誰か辞めている、ということだ。

金澤先輩にとってボート部はどういうものですか。

金澤先輩 私が4回生の時は学生運動が最も激しい時代で、教室がロックアウトされていて授業ができず試験もなく、卒業式もなかった。我々はボート部の追い出しコンパがあったので、同志社大学を卒業したというより、同志社大学ボート部を卒業した感じだった。

最後に現役部員にメッセージをお願いします。

金澤先輩 この人数の多い中で、対校からはずれた人たちがどうやっていくかというのはいろいろあると思うんだけど、自分の役割を見出し4年間やり遂げてほしい。4年間やり遂げたということだけで自信になる。

河畑 宜伸先輩 昭和52年卒



ボート部に入ったきっかけを教えてください。

河畑先輩 僕は同志社中学出身で、高校の時は個人で戦う剣道部でした。当時から団体スポーツに憧れていたし、同志社大学にボート部があって、オリンピックに出たこともあると聞いていたから、団体で力を出し切るイメージがあるボート部に入りたいと思っていました。だから大学に入学してすぐ、彰栄館の前にエイトの艇を見つけて「入部します」って自分から言いに行ったんです。

現役当時苦労したことは何ですか。

河畑先輩 1回生の時にいきなり、先輩がされる調理の補助として、今まで経験したことのない買い出し・調理・血洗いの当番が回ってきたことには少し驚きました。しかしこの経験が、結婚してから家内に喜んでもらえる

こととなり、今では良い思い出になっています。また、競技面に関して言うと、足首を柔軟にする体操には苦労しました。高校の先輩でもあって、当時の対校のコーチであった高橋

潔さんからときどき声を掛けてもらい、君は足首が固い。足首を柔らかくしないとボートは漕げないよ。という言葉のインパクトが強くて、体の柔軟性が絶対必要だと1回生の時から意識していました。足首が固いと足の蹴りが十分に効かないストロークになるので、乗艇練習のたびに、船台前の緩い坂で足首を伸ばすストレッチを欠かさなかった。同期のCOXだった中野君が、よくそのトレーニングに付き合ってくれて、あれは本当にありがたかったですね。

ボート部の経験で役立ったことはありますか。

河畑先輩 1回生の10月、合宿入りの初日に

一人だけ遅刻してしまっただけで、先輩に「瀬田のゴルフ場下までランニングをするように」と言われて、走りに行きました。これも中野君が「減量しないといけないから」と一緒に走ってくれたんです。あの時はアポイントの重要性を体にも刻まれるような形で学び、それは社会人になってからも役立った。時間厳守の大切さをボート部で叩き込まれたわけです。特にエイトの場合、COXを入れて9人のすべての時間が揃わないと艇は出せない。集合時間の重要性を痛感しました。

印象に残っている思い出は何ですか。

河畑先輩 当時、綱登りのトレーニングというのが頻繁にあった、5mぐらいの綱を腕の力だけで登っていくんだけど、1回生の時は全く自分の体が上がらなかった。筋力がなかったからね。でも冬を越えて2回生になった時に登れるようになって、練習は裏切らないと実感しました。

あとは、1回生の冬に熊本県の水俣に合宿に行ったとき、すごく段数の多い有名な石段があって、僕が記憶している中で一番しんどい階段上りだった。上り下りを10セットぐらいトレーニングするんだけど、終わった後は前後不覚、今でもときどき思出すほどインパクトが強かった。

スランプに陥った時や苦しい時、どのように乗り越えましたか。

河畑先輩 3回生のころ、全然艇が走らない時があって、コーチからも散々言われたけれど、それでも走らなかつたとき、キャプテンだった湊さんが、これは自分たちの艇だから自分た



京阪シルク

京のちりめん問屋

京阪シルクは和装小物・袋物用素材・和雑貨の企画開発をしています。
近年は特にちりめんに注力した素材を提供しています。
丹後ちりめんと京友禅の融合した伝統美をお楽しみください。

〒600-8108
京都市下京区五条通西洞院東入る

TEL:075-351-2340
FAX:075-351-4352
www.keihansilk.com

Chirimen

丹後ちりめんと、
京友禅の融合した伝統美



YUZEN



MUJI



KINRAN



WACHO SOZAI



COMPANY



喫茶・お食事

サイフォンで淹れるコーヒーと、味わい深い白金豚のお料理はいかがですか？

7:00 ~ 20:00 木曜定休日

〒520-2132
大津市神領3丁目21-19 金子野和第1ビル1F
TEL/FAX (077)532-6935

そば
一品料理

あ
吾

づま
婦

大津市瀬田1丁目19-31 TEL:077-545-0011

あ
み
定
AMISADA

TEL:077-537-1780
FAX:077-537-1791
http://amisada.jp

〒520-0851 大津市唐橋町23-1 [瀬田唐橋中の島南側]

カフェ・レストラン

アドリア

湖岸道路唐橋下ル TEL:077-537-3355

CAFE & SALON

SUBURU





絶対王者だった東レを追い詰めることができた。結果的には全日本3位だったけれど、自分なりに会心のレースができたなという思い出に残る2000mだった。

マネージャーに対してどのような思いがありましたか。

河畑先輩 マネージャーは僕たちの見えない部分で働いてくれていた。活動の範囲が漕手と違うことはあとになって分かりました。知らないところにいるんなことをやってもらっていて、それは部の運営にとってすごく大事なものであった。彼らは公にそんなことは言わなかったけど、みんな大変な仕事を受け持ってもらっていたことを、あとになって知りました。ありがたかったと感謝しています。

現役時代の仲間に対して今思うことを教えてくださいませんか。

河畑先輩 さっきも話したけれど、中野君はさりげなく一緒に走ってくれたり、さりげなく上に乗って柔軟体操を支えてくれた。すごく仲間意識があったし、うれしかった。同期はやっぱ同じ釜の飯を食べて共に闘った仲間だから、卒業して40年経っても、会えば当時に戻ることができる。そういう友人ができたことは、感謝の一言ですね。今の現役部員も卒業したらみんな違う道に行くと思うけれど、40年経っても当時のことを思い出し、同じ気持ちでいられると思うから、途中でリタイアすることなく何とか最後まで全うしてほしいと思います。

河畑さんはボート部を辞めようと思ったこと

はありますか。

河畑先輩 それが不思議とありませぬね高校の頃から思い入れがあったからかもしれないけれど、やっぱり今思えば楽しかった。辛かった経験があるからこそ、社会人になって、「当時ほどしんどいことはない」と乗り越えることができています。

河畑さんはボート部の中でどのような存在でいようと考えていましたか。

河畑先輩 同期は6人でしたが、すべてが漕手ではない。部の運営上、漕手から主務になる人もマネージャーになる人もいる。そのような人の思いも受け止めてレースに出て勝つこと。それが支えてくれたサポーターしてくれた人への恩返しになるかなと思っていました。レースに出て勝たたいと思うのは、自分の目標でもあるし、支えてもらったコーチ、OB、サポーターメンバーのためでもある。レースに出るということはそれだけのものを背負っている。OBの思いもある。艇に乗りたかったけれど乗れなかった人の思いもある。いろんな人の思いを感じて漕がないといけないとは思っていました。そういう思いをみんなが持っていて、結果に結びついたらいいなというのは、今も昔も変わらないと思います。

ボートをする上で大切だと思うことは何ですか。

河畑先輩 当然のことだけれども、一人だけがんばっても意味がない。エイトだったら8人11人の全員の力がないと艇は走らない。だから「協調性」は必要だし、キャプテンシーを持った人の下で、全員が「艇を走らせる」と

志社の名を上げる」「優勝する」とにかく勝ちたい」という気持ちを持ち続けること。すべては勝つため。2位じゃダメだった。同志社は優勝を目指す。そのために何をするか、何ができるか。全員がそのような気持ちを持っていないと、艇は走らない。

最近の戦績についてご意見をいただけますか。

河畑先輩 戦績は結果であるし、一生懸命したのだからとやかく言うことではないと思うが、意識的なものとして部・個人で目標を定めて、自分に言い訳することなく正面から向き合っている。自分で考えなければならぬ。自分たちの艇なのだから。目標に向かって何ができるのか、クリアできなかった時に何がなかったのかという問いかけを自分にしてほしい。自分の中で常にそれを考えて、会心のレースができるように、クルーとして日々努力を惜しまないでほしい。因みに当時の目標は、エイトでのモントリオールオリンピック出場だった。究極は勝つこと、優勝すること、同志社の名を上げること。

最後に、現役にメッセージをお願いします。

河畑先輩 目標はあるか、そのために何をしているか、何ができるか、常に問いかけてほしい。自分のことだけでなく、クルーのこと、部全体のことを考えられる人になってほしい。目標は大きく持つて、あとは会心のレースを目指してほしい。大学は4年間だけれど、そこからOBとしてまたスタートする。ボート部の付き合いはずっと続く。40年経っても仲間がいることはいいことだと思う。頑張ってください。



同志社大学ボート部 創部125周年記念式典 盛大に開催

2016年11月19日（土）、京都ホテルオークラにて「同志社大学ボート部創部125周年記念式典」が開催され、同志社総長・同志社大学学長をはじめ、総勢220名を超える出席者があった。

記念講演には、大本山石山寺第五十二代座主・鷲尾遍隆親下をお招きし、「石山寺と水の風景」というテーマでお話をいただいた。石山寺は清流瀬田川のほとり、伽藍山の麓にあり、観音の聖地である。奈良時代から今日まで続くその歴史の中で、同志社大学ボート部の活動を見守っていただき、部員にも身近な存在である。

祝賀会に於いては、まず同志社大学ボート部艇友会の新井喜範会長より、ボート部の125周年の歴史を振り返り、200周年に向けての新たな船出を祝って感謝の言葉が述べられた。1968年のメキシコオリンピックに出場経験のあるクルーも会場に足を運んでおり、その輝かしい歴史に思いを馳せた。

次いで、同志社総長・大谷實様、同志社大学学長・松岡敬様、立命館大学のボート部OB会会長の吉田郁雄様、同志社スポーツユニオン会長・豊原洋治様と祝辞を頂いた。たくさんの激励をいただき、ボート部としても身が引き締まる思いであった。

勝ち取れ〜とした。競技経験者の渦巻く全国大会において、大学で初めてオールを握った素人集団が結果を見いだすことができたのは、選手たちの類い稀な努力と活気、勝ちたい思いが身を結んだことを語った。

また、武田知也監督は来年にはいよいよ100名体制の部になるとし、選手たちが勝負という厳しい世界で勝ちを追い求めていきながら、その結果社会人としても有為な人材として輩出できるよう育てていくと宣言した。

125周年は変革期。この一年でボート部の組織は歴史上最大規模となった。1968年のメキシコオリンピックに同志社大学クルーが日本代表として出場したように、同志社大学が全日本選手権で歓喜の声をあげ、東京オリンピックへの切符を手にくれる選手が現れることを大いに期待している。

ボート部コーチ 金野 裕輝

『伝統を守ってきた先輩への感謝の気持ちを忘れず、校祖新島襄の思いを引き継ぐように』

『新島襄の精神を引き継いだ同志社大学ボート部の理念を忘れず、150周年、200周年と歴史を築きあげるため、全力を尽くすように』

『互いに良い刺激となるライバルとして、そしてボート界を盛り上げる仲間として連携を取っていこう』

『同志社大学ボート部創部125周年にあたって歴史を支えた方々に感謝と敬意を捧げ、ボート部がいつまでも同志社スポーツの代表としてたくましく活躍されることを祈ります』

その後、ボート部の志賀理部長より「伝統を守り、同志社らしいボート部であり続けること、同志社スポーツとボート部の発展に寄

与できるよう邁進していきます」と決意が述べられた。

そして、同志社大学体育会長・沖田行司様の乾杯のご発声で創部125周年を祝し祝宴に入った。

宴の途中で現役生によるアトラクションがあり、125周年の歴史を振り返るビデオ上映の後、現主将の松本直弥（経3）が今のボート部を紹介し、今後の抱負を述べた。

今年の戦績として、全日本新人準優勝、全日本大学選手権7位、全日本選手権7位と3大会でベスト8以上の戦績を残した。数年前には、部員減のために廃部の危機すら感じたボート部がここまでの勢いになったのは、非常に多くのドラマを乗り越えてきたからだ。

125年の節目に主将という大役を担った田井哲朗前主将（商4）は、チームスローガンを「RISE TO THE CHALLENGE」ねだるな





阪 悠樹

Yuuki Saka

法学部法律学科
私立
清風高等学校出身

武田監督をはじめ指導陣の皆さま、ならびに艇友会員の皆さま、さまざまな形でのご支援ありがとうございました。皆さまの支えがあり、この同志社大学ボート部で充実した大学生活を送ることができました。厚く御礼申し上げます。

2013年4月1日、2つ上の丸尾先輩と話したことが同志社大学ボート部との出会いでした。中学時代にボート部に所属していた私ですが、まさか大学でボートをやるとは思っていませんでした。入部の決め手は先輩方の人柄でした。合宿所でも暮らしているということもあり、温かい雰囲気だったのを覚えています。迷いはありませんでした。

あれからもう4年が経ちます。入部当初、自分が雲の上の存在だと思っていた4回生の先輩と今や同じ年齢だということに驚きを隠せません。ですが、思い返してみれば本当にいろいろなことがありました。改めて考えると「それほどの時間をボート部で過ごしたのだな」と、とても感慨深い気持ちになります。

この4年間つらいこともたくさんありました。たとえば冬のトライアスロン。他のクルーが励まし合いながらUTに取り組むなか、私はシングルスカルで延々ひとり漕いでいました。あの時の水

上での感覚は今も忘れられません。他にも、多くの同期部員が部を去ったり、会計として部の運営について悪戦苦闘したりといういろいろなことがありましたが、今となっては良い思い出だったと思っています。

そうした一つひとつの出来事が今の自分を作っているのだと感じます。「ボート競技を通じ知・徳・体の涵養に努め、良心に満ち溢れ 自治自立の精神を備えた有為な人材を輩出することにより社会に貢献する」。今後はこのボート部理念を証明できるように生きていくつもりです。

最後になりましたが、ともに合宿所で暮らした先輩・同期・後輩、すべての人たちへ。今後はなかなか会う機会もないかもしれませんが、一緒に泣き笑った思い出は大切な宝物です。いつかまたお会いできる日まで、ずっと皆さんの幸せを祈っています。10年後も20年後も30年後もこの気持ちは忘れません。

名残惜しいですが、以上をもって卒業の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



田井 哲朗

Tetsuro Tai

商学部商学科
私立
清風高等学校出身

現役生活を終え、実家に戻り穏やかな生活を過ごす中で、同志社大学ボート部で過ごした激動の、そしてあっという間に過ぎ去った4年間を思い出し、ボート部での生活が僕自身の中でこんなにも大きなウェイトを占めていたのだと思い知らされるばかりです。

決して、順調な、楽しかった思い出ばかりの4年間ではありませんでした。うまくいかないこと、納得のいかないことにも出会い、一人、合宿所の枕を濡らすことも少なくはありませんでした。笑顔でいることより、歯を食いしばることのほうが間違いなく多かったと思います。

しかし、不器用なりにボートに打ち込んだこの4年間が僕の限界値を無理やりにでも押し上げたのではないかなとあらためて感じます。この4年間「自治自立の精神」こそが最も重要で、最も難しいものであると私は考えていました。この精神こそが他ではなく「同志社」としてボートに関わる本質であると引退した今、自信をもって言い切ることができます。

競技者として自分はちっぽけな選手であったと自認しています。しかしちっぽけなりに生意気にも「勝ちたい」と思い続ける自分がいました。今、後輩たちに改めて確認してほしいのは「勝ちたい

と、結果を残したいと思うのはだれか、なぜか」「なぜ自分が今ここにいるのか」、「何を至上の動力源として自分は稼働するのか」、この問いに答えられれば自ずとすべきことはわかるはずだと思います。それに基づいて自治自立の精神を表現してほしい。現状は現状であり、文句を言うべきでない。その現状を認めたうえで「もとめよ、さらば与えられん」である。頑張ってください。

上の問いのうち、最後の問いに答えるとするならば、私にとって至上の動力源は「成長」でした。さまざまな人々に支え、助けてもらいながら、自分が同期が後輩がそしてチームが、成長したと実感することが何よりも幸せであったといえます。

その「成長」を助けてくれた、内外を問わず、少しでもチームにかかわってくれた人たちに感謝の思いでいっぱいです。弱音ばかり吐きましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。「ボート」という素晴らしいスポーツに「同志社」という大学で関われたことは自身に多くを与えてくれました。これからは社会人としてさらなる成長を求め、さまざまな場所で還元していきたいと思います。

OBにはなりましたが、これからもよろしくお願ひします。



平田 耕一

Kohichi Hirata

商学部商学科
私立
智辯学園高等学校出身

卒業にあたり、ボート部での日々を思い返してみました。嬉しかったこと、悲しかったこと、人生で感じるすべての感情を凝縮したかのような日々でした。起こったすべての出来事、出会ったすべての人が私にとって財産であり、どれが欠けても今の自分はない、本当にかげがえのない時間でした。そんな時間を過ごさせていただけたのも、武田監督、岩井コーチを始めとするコーチ陣の皆様、多大なるご支援を頂いたOB・OGの皆様、先輩方、後輩たち、同期そして両親のおかげです。この場をお借りして深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

もう辞めようと思ったことも何度かありました。なかでも、腰を怪我してからの2年間は本当に惨めな思いをしました。みんなと同じメニューができない負い目、疎外感、思うように漕げない苛立ち。こんな惨めな思いをするならいっそ辞めてしまおうと考えていました。しかし、岩井コーチやトレーナー、マネージャー、後輩そして同期、両親に支えられて復帰することができました。あの時、私は初めて心の底から勝ちたいと思いました。いかに自分が多くの人に支えられているかに気づかされ、その人たちのためにも何としても勝ちたい。そう思うようになりました。

どんなことがあっても諦めない気持ち、勝利へ

の執念そして感謝。よく言われることですが、これがいかに大切で実践が難しいことか怪我をすることでは学ぶことができました。そしてこれは私がボート部で学んだ最も大切なことです。

最後に後輩たちへ、みんなのおかげでほんまに毎日楽しかった。一緒に練習して飯食って、騒いでまた練習して。そんなみんなとの毎日は何歳になっても色褪せない大切な思い出になると思います。ありがとう。

これだけ人数が増えれば意見が食い違うこともあるでしょう。自分の考えとチームが逆の方向に行くことも、やりたくないことをやらないといけないこともあると思います。でもそんな時、すべてはチームのために、そして勝利のためにやっているんだということを思い出してください。先輩後輩問わず仲が良くて、信頼しあえて、リスペクトできる。全員がこのチームが大好きでだから絶対に勝ちたいと心から言える、そんな最高で最強なチームを作ってください。みんなが戸田のレッドカーペットを歩く日を心待ちにしています。

4年間、同志社の名を背負い戦えたことを誇りに、ボート部の理念にあるように社会に有為な人材となれるように精進していきます。今までありがとうございました。



中来田 悠介

Yusuke Nakakita

理学部
エネルギー機械学科
愛知県立
豊田北高等学校出身

ボート部を振り返るとボートの技術について4年間さまざまなことを考えてきました。そこで、少し『力漕』らしくないと思いますが、僕が重要だと思う技術について書きたいと思います。

ひとつ目は上半身と下半身の連動性です。連動性はボートにおいて基礎の基礎で、力をグリップにどれだけ伝えられるかが決まってきます。連動性のコツは体幹を中心に、常に力が伝わる回路を意識することです。連動性ができてきたら次のステージとして、上体のしなりを加えてより加速感のあるドライブを意識します。しなりは金属の棒の端を引っ張って元に戻るような加速感をイメージしたらいいと思います。過去の、形だけ綺麗な同志社ボート部はここに原因があったと思われます。

ふたつ目はリズムについてです。「良いリズムを作るためには」というと結局は、艇を感じて艇にあわせた動きを、という答えになってしまうのですが、ここでは特に大切にしたい部分を書きたいと思います。まずはハンズアウェイ、セットについて。ボートで大切なことはドライブで得た推進力を維持することです。ドライブ後の一番推進力がある状態で余計な力を加えると大きく減速してしまいます。余計な力とは無理にセット

を返した時の力で、その力を出さないためにも、ハンズアウェイ→セットの順番があります。

ここで、少し僕の感覚の話にもなってしまいましたが、ハンズアウェイをしている時に艇と一体化する、艇と接着するような感覚を得てからセットをする、という順番を守ってやるとセットの力で艇を減速させることはなくなります。この感覚はシングルに乗っていると感じやすいのでシングルに乗った時は意識してみてください。

次はエントリーについてです。エントリーを決めるには、軌道を覚えることとシートスライドの溜め具合が大切だと思います。軌道を覚えるのは言うまでもなく、シートスライドの溜め具合は溜め過ぎてもだめだし溜めなさ過ぎてもいけない。そうしてエントリーをしたら直ぐにキャッチをしなければならない。要するに前で止まらずエントリーして直ぐにキャッチしてください。当たり前のことですが。僕は良いリズムのためには上記の2つが大切だと思います。どちらも減速をさせないための技術で、良いリズムとはどれだけ艇速を維持できるかに繋がっていると思います。

長々と書いたけど、結局、僕が伝えたいことは、現役の皆さんどうか頑張って同志社大学ボート部を強くしてください、ということです。

新4回生

2017年度

現役部員紹介

- ①学部・学科
- ②出身高校
- ③身長・体重
- ④今シーズンに向けてひと言



むら た まさ や
村田 真哉【会計】

- ①経済学部経済学科
- ②大阪府立四條畷高等学校
- ③169cm・68kg
- ④4年間の集大成を勝ちという結果で示します。



の せ まさ ふみ
能勢 政典【主務】

- ①経済学部経済学科
- ②私立同志社高等学校
- ④同志社の躍進を見ていてください。



ほし の なつ き
星野 夏貴【副将】

- ①グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
- ②島根県立松江東高校
- ③173cm・73kg
- ④人生で一番熱い1年にします。



まつ もと なお や
松本 直弥【主将】

- ①経済学部経済学科
- ②兵庫県立御影高等学校
- ③174cm・72kg
- ④やる気・根性・気合



まつ さか ひろ し
松坂 滉

- ①社会学部メディア学科
- ②西宮市立西宮高等学校
- ③178cm・69kg
- ④ラストイヤー大成します。



あ べ まさ のり
阿部 正典

- ①スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ②愛媛県立今治西高等学校
- ③182cm・75kg
- ④日本一なれずに終われない。



こ が ひろ ゆき
古賀 寛之

- ①社会学部社会福祉学科
- ②大阪府立芥川高等学校
- ③185cm・70kg
- ④残された時間、踊り狂っていきます。



いと い がわ そう し
糸魚川 宗志

- ①商学部商学科
- ②札幌市立藻岩高等学校
- ③179cm・73kg
- ④ラストシーズン、やるべきことをやって最高のシーズンにします。



にし かわ しゅう ま
西川 修眞

- ①経済学部経済学科
- ②西宮市立西宮高等学校
- ③171cm・69kg
- ④部に何を残せるのかを考えながらもう後のない1年を全力疾走します。



きた の ゆう き
北野 裕樹

- ①経済学部経済学科
- ②滋賀県立膳所高等学校
- ③169cm・64kg
- ④ラストシーズン覚悟を持って挑みます。



みつ い とし まさ
三井 敏匡

- ①文学部文化史学科
- ②岐阜県立岐阜北高等学校
- ③171cm・68kg
- ④最上回生として、部に貢献したいです。



おお もり けん た
大森 健太

- ①商学部商学科
- ②私立清風南海高等学校
- ③179cm・79kg
- ④最上回生として、何かひとつでも良いものを部に残せるように頑張ります。



津田 邦泰

Kuniyasu Tsuda

法学部政治学科

私立清風高等学校出身

今まで生意気、散々言ってきましたが、始めに「ありがとう」です。ずっと見守ってくれた同期。10年もボートを続ける環境を作ってくれた両親。教わる機会の少ないこの時期に、最高の教育をして下さった監督、コーチ。素晴らしい居場所を与えて下さった先輩方そして後輩たち。多くの「ありがとう」で、自分は成り立って生きていられるのだと思います。

ありきたりではありますが、同志社ボート部の4年間を振り返ります。愚かな4年間でした。経験者としてわからないと言っはいけない。対校COXとして完璧な津田を演じなければいけない。殻に閉じこもり、失敗を恐れ、の繰り返しでした。ずっと思っていたことは「自分はここでボートをしているのか？それともボート部の活動をしているのか？」です。

今のボート部とは違い、私が入部した際は雰囲気こそ今の和気藹々としたものになりつつありましたが、上下左右の人間関係は、まだ悪しき時代から脱却できていなかったと思います。そのような中で、艇を走らせようとしているより、エイトをまとめることだけに奔走している、「自分は何をしにここにきたんだ？」という葛藤に4年間を費やした気がします。

よく田井が過渡期と言っていました。過去の言葉になっていませんか？私は澤主将になってからのボート部しか知りませんが、先輩方が思い描き、私たちが引き継いだボート部はまだ完成していません。近年は組織の成熟の手段のひとつとして、部員増に重きを置きました。しかし部員増によって多くの問題が存在する今、ただ人数を増やせばよいと考えは短絡的といわれるでしょう。背景とその先に目指すものを全部員間で共有せねばならない時期に来たのではないかと思います。

昨年の力漕で櫻間が過渡期について言及していたことが非常に頼もしく感じたのを覚えています。彼らならばやってくれる。私は彼を信じています。もちろんみんなも。ボート部は失敗から学ぶことで挑戦を可能にできました。私たちが同期を大量に失った。そして新たな挑戦の結果が今のボート部です。ボート部が新たな時代を切り拓くには、今のボート部から学ぶことです。

校祖・新島襄は「大学の完成には200年」と残しています。同志社もまだ完成していません。創設期からの団体として同志社と共にボート部は歩み続けなければなりません。

誰よりも後輩へ。本当にありがとう。ボート部の本質である、漕ぐことを見失わず、そして辞めるな。

はじめに、監督・コーチ陣の皆様、OB・OGの先輩方、4年間ありがとうございました。

ボート部で過ごした日々はとても充実していました。入部当初は仕事を覚えるのが大変で、やっていけるか不安でした。しかし真冬でも極寒の中、凍ったオールを握り一生懸命ボートを漕ぐ漕手を見て、私も一緒に頑張ろうと思えるようになりました。

あれから3年、思い返してみると楽しかったこと、辛かったこと、さまざまな思い出が蘇ってきます。一番強く思うことは、私は人に恵まれていたということです。私には同期マネージャーはいませんでした。そのことが気にならないくらいボート部は温かい場所でした。優しく接して下さった先輩、頼りない私について来てくれた後輩マネージャー、いつも笑わせてくれた漕手には感謝の気持ちでいっぱいです。特に常に気にかけて下さった川野先輩、勝島先輩には本当に感謝しています。たくさんの方々に支えられ、充実した4年間を過ごす事ができました。

現在アメリカで留学生活を送っていますが、辛いことがあっても頑張ることができるのはボート部で培われた精神のお陰です。ボート部からたくさんの方々のことを学び、成長することができまし



中山 奈美

Nami Nakayama

法学部法律学科

私立同志社香里高等学校出身

た。最後の学生生活をボート部で過ごせて良かったと心から思っています。

最後となりましたが、4年間私に関わって下さったすべての方々に感謝致します。本当にありがとうございました。



すえつぐ ま なつ

末次 真夏

- ①政策学部政策学科
- ②私立東福岡高等学校
- ③169cm・71kg
- ④悔いの残らないレースをする。



き むら とし き

木村 俊貴

- ①経済学部経済学科
- ②私立智辯学園高等学校
- ③177cm・73kg
- ④飛躍の年にします。



さくらま たつ や

櫻間 達也

- ①法学部法律学科
- ②私立京都産業大学附属高等学校
- ③188cm・82kg
- ④結果にこだわる。



たか の あつし

高野 敦

- ①文学部国文学科
- ②兵庫県立神戸甲北高等学校
- ③166cm・68kg
- ④結果を残す。



さ たけ ひろ や

佐武 宏哉【学生コーチ】

- ①社会学部社会学科
- ②和歌山県立田辺高等学校
- ③182cm・75kg
- ④ついに最高学年になりました。この部に多くのものを残せるように頑張ります！



くわ はら やすあき

桑原 康彰【COX】

- ①文化情報学部文化情報学科
- ②私立智辯学園高等学校
- ③175cm・55kg
- ④主舵としての1年。すべてを掴みにいきます。



くろ だ そういちろう

黒田 宗一郎

- ①経済学部経済学科
- ②愛媛県立松山中央高等学校
- ③172cm・78kg
- ④なんとしても勝ちます。



まき た そういちろう

槇田 颯一郎

- ①社会学部産業関係学科
- ②西宮市立西宮高等学校
- ③166cm・69kg
- ④結果を出して部を去るようラストシーズンを過ごしていきます。



ふじわら しゅんや

藤原 駿也

- ①経済学部経済学科
- ②大阪府立開明高等学校
- ③176cm・81kg
- ④妥協を許さず結果を追いかけていきます。



く ぼ つよし

久保 剛

- ①法学部法律学科
- ②私立同志社香里高等学校
- ③179cm・80kg
- ④2年目は結果が残せなかったの自分なりにできなかったものを考え、練習に励みます。



いし だ だい ち

石田 大知

- ①商学部商学科
- ②私立明星高等学校
- ③177cm・81kg
- ④必ず、最後に心の底から笑って終わるために日々全力で挑戦する。



おかもと あきひさ

岡本 晃壽

- ①法学部法律学科
- ②私立同志社高等学校
- ③160cm・62kg
- ④来シーズン結果を残すため、この冬で弱い自分から変わります。



たぐち ゆう の

田口 夕侑乃【統制・学連】

- ①政策学部政策学科
- ②私立岐阜女子高等学校
- ④最後の1年、同志社大学ボート部であることの責任と誇りを持ってやり抜きます。



たか せ え る も

高瀬 絵留萌

- ①経済学部経済学科
- ②福岡県立城南高等学校
- ③153cm
- ④ついにラストシーズン。成績を残すため、この冬練やれることはやります。



みや た しょうへい

宮田 将平【トレーナー】

- ①理工学部電気工学科
- ②私立清風高等学校
- ④今までできなかったことをやりきります。



おく や しょう

奥谷 翔【副務】

- ①社会学部産業関係学科
- ②兵庫県
- ④部の結果、自分自身の納得を求め最後のシーズンに全力を尽くします。



ふた がみ

二神 こころ【トレーナー】

- ①商学部商学科
- ②兵庫県立大学附属高等学校
- ④個人ののためのチームではなく、チームのための個人として頑張ります。



かご しげ わたる

籠重 航【トレーナー】

- ①法学部法律学科
- ②私立同志社国際高等学校
- ③170cm・55kg
- ④強い同志社の基盤になる。



にし だ みき の

西田 樹乃

- ①社会学部メディア学科
- ②東京都立戸山高等学校
- ③168cm
- ④華の女子大生、欲しがりません、勝つまでは。



さいとう のぶ こ

齋藤 暢子

- ①商学部商学科
- ②秋田県立本荘高等学校
- ③168cm
- ④勝つ喜びを噛み締め、悔いのないシーズンにします。



こんどう はる こ

近藤 晴子【広報】

- ①文学部英文学科
- ②私立加藤学園高等学校
- ④特別な1年にします。



やまぐち ま な

山口 真奈【広報】

- ①経済学部経済学科
- ②私立同志社高等学校
- ④結果を残すために精一杯頑張ります。



や ぎ ゆう な

八木 友菜【艇友会】

- ①経済学部経済学科
- ②私立同志社高等学校
- ④ラスト1年全力で頑張ります。



まえだ ま な

前田 真奈【体育会本部・栄養】

- ①政策学部政策学科
- ②私立筑紫女学園高等学校
- ④最後の1年、勝てる組織を作るという責任を果たして引退します。



やまもと る い

山本 瑠依【統制・栄養】

- ①グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科
- ②私立西南学院高等学校
- ④漕手のために、部のために全力でサポートします。



その み さ と

園 三紗都【広報】

- ①社会学部教育文化学科
- ②滋賀県立守山高等学校
- ④部のためにできることを考え、サポートに努めます。



おおした みず き

大下 瑞季【学連】

- ①文学部国文学科
- ②石川県立小松高等学校
- ④自分の役割を考え、部の力になれるよう行動します。



かめい み き こ

亀井 美紀子【広報】

- ①社会学部メディア学科
- ②私立同志社女子高等学校
- ④部のために尽力します。



おおたに ふみのり

大谷 文則

- ①スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学学科
- ②私立芝高等学校
- ③168cm・69kg
- ④とにかく勝ちにこだわっていきます。



さわ しゅんた

澤 駿太

- ①経済学部経済学科
- ②滋賀県立東大津高等学校
- ③177cm・77kg
- ④全力で駆け抜けます。



はら だ のぶひろ

原田 遥大

- ①理工学部エネルギー機械工学科
- ②私立清教学園高等学校
- ③166cm・74kg
- ④昨シーズンは苦汁を舐めたので、来シーズンこそは表彰台に登りたいです。

新3回生



ふくい あやか
福井 彩夏

- ①スポ健・スポーツ健康科学科
- ②私立同志社女子高等学校
- ③158cm
- ④貪欲に勝ちにこだわり自分に厳しく妥協せず常に結果を求めています。



ふじもと りょう
藤本 亮 [COX]

- ①政策学部政策学科
- ②大阪府立桜塚高等学校
- ③163cm・55kg
- ④未知に挑み続ける飛躍の1年にしていきます。



やまぐち ひろと
山口 弘人 [COX]

- ①商学部商学科
- ②福井県藤島高等学校
- ③163cm・55kg
- ④チームとしてレベルをあげる。



い こま ひろむ
生駒 宏武

- ①グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科
- ②私立三田学園高等学校
- ③175cm・69kg
- ④パワーアップして帰ってきます。



おおし ともや
大慈 智哉

- ①商学部商学科
- ②兵庫県立兵庫高等学校
- ③174cm・74.5kg
- ④勝てなかったことを真摯に受け止め、来季は1勝でも多く勝ちたいと思います。



じんぐう けんすけ
神宮 健輔

- ①経済学部経済学科
- ②私立広尾学園高等学校
- ③188cm・75kg
- ④そろそろ結果を出していきたい。

新2回生



たけうち ゆき
竹内 祐希 [艇友会]

- ①社会学部教育文化学科
- ②私立京都文教高等学校
- ④何かひとつでも自分だけの強みを持った、サポーターでいたいです。



ひばな ななこ
日花 奈々子 [広報]

- ①社会学部メディア学科
- ②京都市立西京高等学校
- ④部の勝利に貢献できるように一生懸命サポートします。



おおた さよ
大田 彩葉 [栄養]

- ①経済学部経済学科
- ②私立同志社女子高等学校
- ④部の一員である責任と自覚を持って、精一杯サポートに努めます。



たけもと さくら
竹本 咲良

- ①文学部文化史学科
- ②福岡県立城南高等学校
- ③147cm
- ④1秒1秒にこだわり、結果にこだわり、勝ちにいきます。



う さ み ゆうき
宇佐見 侑紀

- ①文学部国文学科
- ②大阪府立富田林高等学校
- ③157cm
- ④昨シーズン味わった悔しさをバネにワンランク上の選手を目指し邁進します。



おおたに えいしゅう
大谷 鋭周

- ①文学部英文学科
- ②私立函館ラ・サール高等学校
- ③173cm・71kg
- ④速くなるためにはどうすればいいかを考えて練習する。



し みず りょう
清水 諒

- ①経済学部経済学科
- ②山口県立宇部高等学校
- ③179cm・67kg
- ④妥協せず、怪我をせずに結果を出します。



あしだ いちろう
芦田 一郎

- ①法学部法律学科
- ②私立同志社高等学校
- ③163cm・66kg
- ④2年目という自覚をもって精一杯がんばります。



なかざわ まさひろ
中澤 正浩

- ①経済学部経済学科
- ②私立甲南高等学校
- ③175cm・80kg
- ④上達し、強くなります。



やぎ まりな
八木 鞠菜 [広報]

- ①政策学部政策学科
- ②私立賢明女子学院高等学校
- ④何ができるかを常に考え、行動し、漕手と共に勝利を目指します。



ふくしま さほ
福島 沙帆 [統制]

- ①社会学部教育文化学科
- ②京都市立西京高等学校
- ④部の勝利のために全力でサポートしていきます。



もうり のりこ
毛利 宣子 [学連]

- ①政策学部政策学科
- ②私立筑紫女学園高等学校
- ④部の力になれるよう一生懸命サポートします。



みつだ まみこ
光田 真美子 [艇友会]

- ①政策学部政策学科
- ②愛知県立津島高等学校
- ④マネージャーとしての視点からだけでなく、部の一員として、漕手と共に勝利を目指します。



あんどう ゆうさく
安藤 優作

- ①経済学部経済学科
- ②福岡県立城南高等学校
- ③180cm・72kg
- ④ボートを楽しむ、そして勝つ！



た が わ りょうた
田川 凌大

- ①政策学部政策学科
- ②神戸市立六甲アイランド高等学校
- ③190cm・77kg
- ④先輩に喰らいついて脅かす存在になりたい。



やまもと こうのすけ
山本 幸之介

- ①商学部商学科
- ②私立三田学園高等学校
- ③171.2cm・64kg
- ④順位決定に食い込めるような体力、特に差のつきやすい技術を身につける。



ふじわら たかし
藤原 嵩

- ①法学部法律学科
- ②私立同志社高等学校
- ③177cm・76kg
- ④敗者のモチベーションを忘れず、1ストロークにすべてを注ぎます。



ふじ おか てんしゅう
藤岡 天翔

- ①商学部商学科
- ②私立修道高等学校
- ③163cm・68kg
- ④今年の悔しさをバネに成長していきます。



なかむら かい
中村 魁

- ①法学部法律学科
- ②兵庫県立洲本高等学校
- ③177cm・74kg
- ④ボートを楽しんで勝つ！



おおたに だい
大谷 大

- ①経済学部経済学科
- ②大阪府立高槻北高等学校
- ③182cm・76kg
- ④加古川の悔しさを忘れずに練習に励みます。



いいだ かいしゅう
飯田 海舟

- ①政策学部政策学科
- ②滋賀県立大津高等学校
- ③172cm・75kg
- ④チームで主力の漕手になれるよう努めています。

コーチング スタッフ 紹介



監督

武田 知也

艇友会員、保護者の皆さま、いつも弊部の活動にご支援いただきありがとうございます。また、広告主の皆さまには毎度『力漕』の発刊にご協力いただきましてありがとうございます。さらに、力足らずの私に懸命についてきてくれる部員、コーチ陣に感謝申し上げます。

監督就任から5年が経ちました。合宿所の建て替え、理念の策定、部員の増加とそれに伴う設備の充実、大所帯のチームの再構築、エイトで勝負する同志社の復活、フィジカルコーチの外部からの招聘など、思えばたくさんの課題に向き合い、格闘してまいりました。

5年でひと通りの改革を完了し、関東の大学に伍する体制を整える気概でやってまいりましたが、まったくもって道半ばであることを痛感しております。

今後はこれまで積み上げたものを維持、向上しつつ、組織力、チーム力の強化、漕艇技術の向上を目指し同時に多方面の難題に立ち向かっていかないとはいけません。そして何より、部員一人ひとりを社会に有為な人材として育成し、世に送り出さなければ弊部の将来はないでしょう。

全身全霊をもって諸問題に取り組み、長期にわたって皆さまのご期待に応えられるような組織づくりに向け頑張っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



コーチ

川口 正嗣

125周年の式典も終わり、ボート部の126年目がスタートしています。今年はエイトでチャレンジしてきて4年目の年となります。昨年は東日本選手権にて6分6秒でゴールすることができ、年々タイムを縮めてきております。しかしながらレースにおける勝負弱さを実感した昨年。今年は昨年以上に勝負にこだわって勝負強さを高めていきます。

部員数については過去最大であり、今年の春には100人体制の部になる予定です。少しずつ積み重ねてきた勧誘の結果がこのよう大きな結果となって現れてきたことに喜びを感じております。また、部員数の増加に伴い生活環境や練習環境に問題が生じてきていますが、OB会・大学の支援もあり改善されております。部全体のチーム力upを図り、長期的に安定した強いチーム作りを目指していきます。

インカレのレースが終わった後、学生たちと共に勝利の喜びを分かち合えるように精進してまいります。



コーチ

金野 裕輝

いつも多大なるご支援賜り、誠にありがとうございます。創部125年という節目に指導者の一人として携わることができ、有難く存じます。

1年間、選手と共に活動が続けている中で、1年1年が「学生にとっての最後の1年」であると実感しております。1回生の1年、2回生の1年、3回生の1年、4回生の1年、それぞれがそれぞれの役割を担い、練習に励んでいます。毎年「今年こそは」と艇友会会員皆さまにはお伝えしている中で恐縮ですが、一歩ずつ、本当に小さな一歩ずつではありますが、ボート部は前進していると実感しています。

2016年シーズンに、全日本新人・全日本大学選手権・全日本選手権、3大会で入賞を果たしたのも大きな成果として捉えています。競技の楽しさは、努力の成果を見出した時にやってきます。結果がすべてであるスポーツにおいて、「勝ちの味」を感じていただける部に育て上げ、実績はもちろんチームとして日本一となる、他部の規範となるボート部を目指す所存です。

また、女子選手については現在6名。全員が大なり小なり大会での入賞経験を持っています。これを良き伝統とし、来年度は10名以上の組織として、同志社大学ボート部の新たな歴史を作って参ります。引き続き、応援よろしくお願いいたします。



コーチ

佐藤 拓朗

コーチをしてからはや2年。今まで自分がコーチとしてどれだけのものをどれだけ多くの人に残せたか、振り返ると足りないことも多かったと思います。総会でもコーチの質について厳しい意見をいただきました。コーチの指導の仕方が悪い、研究が足りないなどなど自分の胸に突き刺さるものばかりでした。

しかし、ただ反省ばかりしても、前へは進めません。総会で厳しい意見をいただいたのも期待の裏返しのお言葉だと私は考えています。その期待に応えるために一歩でも半歩でも前に進むためにコーチ陣はもがき、学び続け、行動を起こし続けなければなりません。私は現役の頃、輝かしい成績を残せたわけでもなく実力もない漕手でした。その漕手が教えるということになると研究を人一倍行い、説得力ある教え方をしなければいけないと思いますし、コミュニケーションを取り続ける必要があると思います。

これからも監督、コーチをはじめ、漕手、マネージャー、トレーナー全員が今シーズンを闘い抜き、良いシーズンであったと最後に言えるよう一致団結し戦っていきますので、いつも支えて下さるOB、OG、そしてご家族の方々、今後とも同志社大学ボート部を応援してください、よろしくお願い致します。



コーチ

日比野 聖司

いつも多大なるご支援賜り、誠にありがとうございます。ボート部は125年目のシーズンを終えました。部員は80名を超え、全国でも指折りの規模のボート部となりました。今シーズンは部員増加に加え、レースでも勢いを感じた1年でした。シーズン初戦での朝日レガッタではエイトが社会人クルーに勝利、全日本クラスの大会でも順位をつけるなど、昨年以上の結果を出すことができました。当初の目標はエイトでの関西制覇、全日本クラスの大会で表彰台に乗ることであったため、さらなる飛躍が必要ですが、着実に強くなっています。

規模が大きくなった今、これまで以上に強力なサポート体制を築き、部員数、実力を安定して維持していく必要があります。その中で、部員が実りある4年間を過ごせるようコーチとして、部員一人ひとりと向き合っていきたいと思います。現役部員には4年間という限られた期間しかありません。そのなかで結果を求めることは重要ですが、そのプロセスこそが部員の大きな財産となります。

部員が引退して卒業するとき、ボート部で良かった、そう思ってくれるよう指導陣の一員として邁進していきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



コーチ

岩井 雄史

“頭を使って強くする”——今オフのフィジカルトレーニングはこう決めてスタートした。簡単なことではないと覚悟をもって。その理由は2つ。ひとつは、スポーツ科学は幅広い知識と深い専門性から成り立っているため、理解するのに時間がかかること。もうひとつは、多くのチームがスポーツ科学を学び、実践していること。だから我々の“頭を使って強くする”ということは、強化ポイントの選択と集中と浸透と定義した。この入口がエルゴ2000mタイムトライアル。結果をバイオメカニクスのアプローチで分析し、選手の現状分析を客観的に行う。そこに選手とコーチの感覚を融合させることで、客観的なデータは“生きた”データとなり、魂のこもったトレーニングを行う気持ちを後押しさせる。大変労力のかかる取り組みだけど、やり切る覚悟をもって挑む。

なぜなら、今年、同志社大学ボート部は全クルーインカレ最終日に残ることを目標に掲げているからだ。これはコーチ陣も選手も並大抵な努力では実現できないことを承知している。だからコーチ陣から戦う姿勢を出していく。“挑戦する”ことは、輝かしい未来を描けるものに与えられる特権ということを忘れずに。選手のご家族、OGOB、学校関係者の皆様、今年も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



コーチ

堀田 裕希

ボート部OB・OG、保護者の皆様、はじめまして、今年度からストレングスコーチとして選手の体力面のサポートを担当しております堀田です。

私事ではありますが、昨年、結婚を機に大阪から石山へと引っ越してきました。ちょうど引っ越して1ヵ月くらい経ったころでしょう

か、岩井コーチから同志社大学ボート部の話をいただいたのです。私は、これは何かの縁だろうと思い、すぐに快諾しました。また、それと同時に石山に来たのは、同志社大学ボート部を強くしろという使命をストレングスコーチとして与えられたようにも感じました。

きっと、今回のストレングスコーチ就任は、偶然ではなく必然なのだろうと思います。自宅に近いことから選手のトレーニング状況を細目にチェックに行くことが可能です。

できるだけ多く足を運び、選手の体力強化に努めてまいりたいと思います。選手から「堀田の顔を見るのが嫌だ…」と思われるまで厳しく指導にあたる所存でございます。

今後とも同志社大学ボート部へご支援の程よろしくお願いいたします。

第69回朝日レガッタ

2016.5/1～5/4

琵琶湖漕艇場

●男子シングルスカル A：平田耕一

▶レース No.7 予選 7組 8:18 発艇

1. 湊善徳(岩手県ボート協会)②3:44.87
2. 武田大作(DCM ダイキ)①3:30.33
3. 近藤智輝(大阪大学 B)③3:51.41
4. 皆川俊一(浜寺 RC)⑥4:06.52
5. 平田耕一(同志社大学 A)④3:56.01 →敗復へ
6. 宇治川直輝(島根大学)⑤3:59.62

▶レース No.64 敗復 1組 7:30 発艇

2. 中田駿平(松山大学 A)④4:04.78
3. 高橋昌太郎(山口合同ガス)棄権
4. 徳森優太(岐阜経済大学)①3:44.27
5. 平田耕一(同志社大学 A)②3:55.63
6. 榎本啓希(滋賀医科大学)④4:10.13

●男子シングルスカル B: 松坂晃

▶レース No.3 予選 3組 7:46 発艇

1. 岡部政憲(今治造船 B)①3:30.09
3. 松坂晃(同志社大学 B)④3:52.65 →敗復へ
4. 若杉颯太(京都市大)②3:35.35
5. 本池遼太郎(松山大学 B)③3:40.61
6. 向井智樹(大阪府立大学)⑤7:57.86

▶レース No.66 敗復 3組 7:46 発艇

2. 宇治川直輝(島根大学)③3:55.72
3. 松坂晃(同志社大学)②3:55.28
4. 能勢昂尚(大阪大学 A)①3:46.34
5. 仲尾圭市(横浜漕艇 NCC)④4:01.04
6. 丹下幸吉(桜門艇友会・四国)⑤4:08.22

●一般女子シングルスカル：高瀬絵留萌

▶レース No.9 予選 2組 8:34 発艇

1. 高瀬絵留萌(同志社大学)⑥4:25.38 →敗復へ
2. 猪飼更紗(瀬田漕艇クラブ)③4:13.90
3. 北村朱加(大阪歯科大学)④4:25.90
4. 大堀玲奈(岩手県ボート協会)④4:07.76
5. 有嶋遥奈(神戸大学 A)④4:15.65
6. 鎮木磨(明治安田生命)①4:00.03

▶レース No.70 敗復 3組 8:18 発艇

1. 古澤文子(京都市大)⑥4:26.46
2. 北村朱加(大阪歯科大学)④4:20.95
3. 門田理子(大阪大学)①4:08.35
4. 猪飼更紗(瀬田漕艇クラブ)②4:12.89
5. 高瀬絵留萌(同志社大学)③4:16.88
6. 中村恵嘉(岡山大学 A)⑤4:25.33

●一般女子ダブルスカル S: 西田樹乃 B: 齋藤帽子

▶レース No.36 予選 4組 11:58 発艇

2. 京都市大 B②4:07.66
3. 大阪市立大学 さくら④4:19.34
4. 同志社大学③4:08.26 →敗復へ
5. 筑波大学 B①4:05.29
6. 大阪府立大学 トリトン⑤4:33.42

▶レース No.96 敗復 2組 11:29 発艇

1. 滋賀大学経済学部 A⑤4:03.18
2. 鳥取大学 Swan③3:59.27
3. 大阪工業大学 Aile③3:48.78
4. 同志社大学②3:52.28 →準決勝へ
5. 松山大学③3:57.47
6. 山口大学⑥4:07.55

▶レース No.144 準決 1組 10:44 発艇

1. 同志社大学④4:10.69
2. 大阪府立大学 階⑥4:24.38
3. 立命館大学 A④4:06.97
4. 明治安田生命 A③3:58.16
5. 京都大学 B⑥4:21.33

●一般男子舵手付きフォア

同志社大学 A

C: 津田邦泰 S: 三井敏匡 3: 原田遼大 2: 澤駿太 B: 久保剛

同志社大学 B

C: 龍重航 S: 村田真哉 3: 横田颯一郎 2: 藤原駿也 B: 松本直弥

▶レース No.79 予選 1組 9:30 発艇

2. 鳥取大学 疾風④3:30.04
3. 山口大学③3:26.78
4. 同志社大学 B②3:22.89 →準決勝へ
5. 大阪大学 A①3:20.82
6. 大阪府立大学 スフロ①⑤3:32.67

▶レース No.84 予選 6組 10:05 発艇

1. 同志社大学 A②3:13.96 →準決勝へ
2. 瀬田漕艇クラブ①3:13.96
3. 大阪工業大学 B⑤3:34.65
4. 京都市医学部 紅覇③3:33.64
5. 大阪工業大学 B③3:37.84
6. 鳥取大学 駿風③3:18.94

第38回全日本軽量級選手権大会

2016.5/27～5/29

戸田ボートコース

●男子シングルスカル 阿部正典

▶レース No.19 予選 G組 11:00 発艇

1. 保武大(明治安田生命 B C)②7:56.98
2. 松魁成(成京外国語大学)棄権
3. 井出健二(今治造船 A)①7:41.16
4. 中村匠吾(法政大学)③7:58.03
5. 阿部正典(同志社大学) 失格

●男子ダブルスカル S: 古賀寛之 B: 星野夏貴

▶レース No.36 予選 C組 13:34 発艇

1. 同志社大学 A②7:57.70 →敗復へ
2. 慶応義塾大学 B 失格
3. 明治安田生命①7:36.87
4. 名古屋大学③8:23.63
5. 明治大学③8:18.40

▶レース No.90 敗復 E組 13:42 発艇

2. 慶応義塾大学 A⑦7:34.60
3. 同志社大学 A⑦7:16.43
4. 龍谷大学 A⑦7:10.72

●男子舵手なしフォア

S: 田井哲朗 3: 平田耕一 2: 中來田悠介 B: 糸魚川宗志

▶レース No.44 予選 C組 14:38 発艇

1. 同志社大学⑦7:18.60 →敗復へ
2. 京都市大⑦7:10.26
3. 岐阜経済大学⑥7:40.42
4. 東海大学③7:13.93
5. Hong Kong China Rowing B②7:11.19
6. 成城大学⑦7:59.11

▶レース No.96 敗復 C組 14:30 発艇

1. 成城大学⑦7:36.08
2. 同志社大学⑦7:03.84
3. 仙台大学③6:49.96
4. Hong Kong China Rowing B②6:47.94
5. 成蹊大学①6:46.83

第1回西日本選手権競漕大会

2016.6/11～6/12

大阪府立漕艇センター

●女子ダブルスカル S: 高瀬絵留萌 B: 齋藤帽子

▶レース No.16 予選 1組 11:54 発艇

2. 神戸大学⑦7:57.54
3. 鹿屋体育大学①7:57.08
4. 大阪府立大学 階 棄権
5. 大阪市立大学 C④8:22.72
6. 同志社大学③8:07.72 →敗復へ

▶レース No.36 敗復 1組 15:18 発艇

2. 富山国際大学①8:48.18
3. 大阪市立大学 B④8:58.95
4. 大阪市立大学 A②8:49.34
5. 同志社大学③8:49.95 →順位決定戦へ
6. 大阪市立大学 C⑥9:07.40

▶レース No.61 順位戦 12:46 発艇

2. 大阪市立大学 C③8:29.95
3. 同志社大学②8:13.98
4. 大阪市立大学 B①8:07.57

第66回東日本選手権競漕大会

2016. 6/25～6/26

戸田漕艇場

●男子舵手なしペア S: 古賀寛之 B: 平田耕一

▶レース No.32 予選 D組 13:44 発艇

1. 明治大学 C⑦7:39.80
2. 明治大学 B①7:04.60
3. 中央大学③7:09.33
4. 同志社大学②7:18.84 →決勝 Bへ
5. 一橋大学 D⑦7:08.88

▶レース No.72 決勝 B組 10:27 発艇

1. 京都大学 C⑦7:09.33
2. 同志社大学⑦7:08.41
3. NTT 東日本④7:05.93
4. 一橋大学 A①6:57.08
5. 明治大学 A②6:57.49
6. 一橋大学 C③7:01.66

●男子舵手付きフォア

C: 津田邦泰 S: 澤駿太 3: 原田遼大 2: 三井敏匡 B: 松本直弥

▶レース No.26 予選 D組 11:42 発艇

2. 日本大学 A①6:50.34
3. 明治大学②6:51.42
4. 立教大学 a③7:12.13
5. 同志社大学⑦7:12.96 →準決 Bへ
▶レース No.55 準決 B組 16:59 発艇

1. 同志社大学⑥7:06.00 →決勝 Bへ
2. 成蹊大学 A⑥7:08.84
3. 日本大学 B②6:51.97
4. 一橋大学 A③6:53.53
5. 明治大学①6:51.14
6. 立教大学④7:02.62

▶レース No.89 決勝 B組 12:46 発艇

1. 成蹊大学 A③6:58.05
2. 慶応義塾大学①6:54.57
3. 立教大学 B⑥7:07.17
4. トヨタ自動車②6:55.21
5. 同志社大学④6:59.11 →第4位
6. 一橋大学 B⑤7:02.88

●男子エイト

C: 桑原康彰 S: 阿部正典 7: 黒田宗一 6: 櫻間達也 5: 久保剛

4: 中來田悠介 3: 石田大知 2: 田井哲朗 B: 糸魚川宗志

▶レース No.46 予選 C組 15:40 発艇

1. 東京工業大学④6:17.78
2. 防衛大学校⑤7:48.11
3. 慶応義塾大学①6:01.63
4. 同志社大学②6:07.45 →決勝 Aへ
5. 東京大学③6:09.92
6. (OPN)東北大学 B⑥6:25.31

▶レース No.103 決勝 A組 15:53 発艇

1. 同志社大学④6:06.14
2. 京都市大⑤6:11.05
3. NTT 東日本①5:55.80
4. 慶応義塾大学②5:59.46
5. 中央大学 A⑥6:11.32
6. 早稲田大学③6:02.27

平成28年度関西学生新人レガッタ

2016. 7/3

琵琶湖漕艇場

●新人男子ナックルフォア

同志社大学 A

C: 山口弘人 S: 中村魁 3: 中澤正浩 2: 飯田海内 B: 石田大知

同志社大学 B

C: 藤本亮 S: 櫻間達也 3: 安藤優作 2: 尾崎俊介 B: 田川凌大

同志社大学 C

C: 大谷文則 S: 藤原駿也 3: 藤原嵩 2: 大谷鋭周 B: 大谷大

同志社大学 D

C: 龍重航 S: 三井敏匡 3: 生駒宏武 2: 山本幸之介 B: 徳田祥吾

同志社大学 E

C: 宮田将平 S: 神宮健輔 3: 原田遼大 2: 中野知雄 B: 大慈智哉

同志社大学 F

C: 岡本晃壽 S: 木村俊貴 3: 芦田一郎 2: 田中直樹 B: 中満祐樹

同志社大学 G

C: 北野裕樹 S: 市坪徹也 3: 横田颯一郎 2: 清水諒 B: 藤岡天翔

同志社大学 H

C: 村田真哉 S: 杉浦弘樹 3: 松本直弥 2: 井端優斗 B: 新海友梨

▶予選 1組

1. 同志社大学 A①2:00.33 →決勝へ
2. 全力坂 55②2:21.45
3. 滋賀大学教育学部④2:17.66
4. 大阪工業大学 A②2:06.54
5. 関西大学 A③2:09.96
6. 滋賀大学経済学部 F⑥2:32.26

▶予選 2組

2. 甲南大学 A③2:27.45
3. 京都市医学部⑤2:58.07
4. 同志社大学 B②2:19.61 →決勝へ
5. 甲南大学 B④2:34.98
6. 関西大学 B①2:16.11

▶予選 3組

2. 大阪工業大学 B①2:10.21
3. 滋賀大学経済学部 A②2:15.74
4. 同志社大学 F⑤2:32.55 →敗復へ
5. LSASL ③2:24.42
6. 大阪工業大学 C③2:27.32

▶レース No.57 決勝 A組 11:36 発艇

2. 本荘高校⑦7:4.74
3. 同志社大学②7:40.62 →準優勝
4. 仙台大学 A⑦7:33.71
5. 東北大学⑤7:47.52
6. 仙台大学 B⑦7:42.68
7. 鹿屋体育大学⑧8:06.68

平成28年度関西選手権競漕大会

●一般男子シングルスカル

▶レース No.1 予選 1組 7:30 発艇

1. 徳森優太(岐阜経済大学 A)③7:34.69
2. 石畑祥太郎(品川リフラクトリース B)②7:19.82
3. 上田裕樹(トヨタ紡織 D)①7:11.78
4. 中村拓真(関西学院大学 B)④7:53.28
5. 北野裕樹(同志社大学 C)⑥7:55.69 →敗復へ

▶レース No.2 予選 2組 7:40 発艇

1. 中川祥(富山国際大学 B)①7:29.31
2. 宇土誠一(名古屋大学 B)⑥9:40.82
3. 早川源太郎(和歌山 RC)⑦7:44.12
4. 佐武宏哉(同志社大学 F)④8:42.96 →敗復へ
5. 立石将也(岡山大学)③8:07.82

▶レース No.4 予選 4組 8:00 発艇

1. 木村良太郎(トヨタ紡織 B)①7:12.65
2. 木村俊貴(同志社大学 D)④8:41.09 →敗復へ
3. 紫竹貴司(横浜漕艇ちちく)③8:21.69
4. 六野祥平(名古屋大学 C)⑥10:42.97
5. 野口皓平(広島大学)⑦7:25.25

▶レース No.7 予選 7組 8:30 発艇

1. 岡田将俊(大阪工業大学 翔風)⑦7:55.13
2. 谷上日向(清風中学)⑤9:05.99
3. 阪悠樹(同志社大学 G)④8:25.55 →敗復へ
4. 河越泰輝(清風高校)失格
5. 春名祐希(桜宮高校 B)①7:33.72
6. 小林優也(広島大学)③8:04.07

▶レース No.9 予選 9組 8:50 発艇

1. 井出健二(今治造船)②7:17.07
2. 倉谷郁也(関西電力美浜 B)①7:01.23
3. 小見山正敏(神戸ポートクラブ)⑦7:33.23
4. 高野敦(同志社大学 A)⑥8:55.79 →敗復へ
5. 田中楓聖(追手門学院大学 A)④7:58.66
6. 伊藤海斗(富山国際大学 C)⑥9:22.05

▶レース No.10 予選 10組 9:00 発艇

1. 武田和樹(関西電力美浜 A)①7:00.28
2. 菊池諒今(富山国際大学 A)②7:17.13
3. 末次真夏(同志社大学 E)⑥8:15.84 →敗復へ
4. 石田陸(愛媛大学 B)④7:45.53
5. 中山大士(関西学院大学 C)⑤8:01.00
6. 藤岡學(清風高校)③7:29.55

▶レース No.38 敗復 1組 13:42 発艇

1. 河野太一(鳥取大学)④8:28.15
2. 中山大士(関西学院大学 C)②7:59.05
3. 藤岡學(清風高校)①7:40.97
4. 田中楓聖(追手門学院大学 A)③8:15.85
5. 阪悠樹(同志社大学 G)⑤8:48.45

▶レース No.39 敗復 2組 13:52 発艇

1. 木村俊貴(同志社大学 D)④8:28.20
2. 早川幹人(鹿屋体育大学)③8:19.54
3. 小見山正敏(神戸ポートクラブ)①7:59.03
4. 北野裕樹(同志社大学 C)②8:15.61 →準決勝へ
5. 大竹将司(名古屋大学 D)⑤8:52.56

▶レース No.40 敗復 3組 14:02 発艇

1. 佐武宏哉(同志社大学 F)⑧8:14.56
2. 小林優也(広島大学)④8:18.68
3. 徳森優太(岐阜経済大学 A)①7:50.76
4. 中村拓真(関西学院大学 B)②8:08.81
5. 紫竹貴司(横浜漕艇ちちく)⑥8:33.68
6. 六野祥平(名古屋大学 C)⑥8:29.90

▶レース No.41 敗復 4組 14:12 発艇

1. 高野敦(同志社大学 A)⑥8:56.83
2. 立石将也(岡山大学)②8:01.83
3. 久村航(山口合同ガス)①7:53.07
4. 川村真矢(愛知東郷ポートクラブ)③8:09.52
5. 浦野太一(瀬田漕艇クラブ C)④8:44.82
6. 宇土誠一(名古屋大学 B)⑤8:49.61

▶レース No.42 敗復 5組 14:22 発艇

1. 谷上日向(清風中学)⑥9:33.14
2. 辻井智一(大阪工業大学 雄風)⑤8:27.20
3. 森田貴大(九州大学)②7:54.16
4. 石田陸(愛媛大学 B)③7:58.60
5. 末次真夏(同志社大学 E)④8:15.46
6. 伊藤海斗(富山国際大学 C)①7:40.41

▶予選 4組

2. 滋賀大学経済学部 C⑤2:17.99
3. 同志社大学 C②2:01.06 →決勝へ
4. 同志社大学 E①2:00.55 →決勝へ
5. 大阪工業大学 D④2:14.27
6. アモーレがモレモレ③2:10.48

▶予選 5組

2. 同志社大学 G①2:11.04 →決勝へ
3. 甲南大学 C⑤2:34.45
4. 滋賀大学経済学部 D②2:12.76
5. 同志社大学 D③2:14.54 →敗復へ
6. 滋賀大学経済学部 E④2:27.33

▶予選 6組

2. 大阪工業大学 E③2:38.83
3. 関西大学 C②2:30.50
4. 滋賀大学経済学部 B⑤2:47.79
5. 同志社大学 H①2:23.78 →決勝へ
6. 甲南大学 D④2:47.35

▶敗復 2組

2. 甲南大学 B④2:26.39
3. 大阪工業大学 C③2:25.29
4. LSAS②2:24.23
5. 同志社大学 F⑤2:32.89
6. 京都市医学部①2:20.86

▶敗復 3組

2. 滋賀大学経済学部 E④2:23.79
3. 大阪工業大学 D③2:22.50
4. アモーレがモレモレ②2:21.54
5. 同志社大学 D①2:19.49 →決勝へ
6. 甲南大学 C⑤2:39.03

▶決勝 1組

2. 大阪市立

●一般女子ダブルスカル

同志社大学 A S: 西田樹乃 B: 宇佐見侑紀
同志社大学 B S: 福井彩夏 B: 竹本咲良

▶レース No.5 予選 9:32 発艇

- 龍谷大学 2000 万パワーズ①3:38.22
- 同志社大学 A④4:04.06 →決勝へ**
- 京都大学 A②3:42.01
- 龍谷大学③3:51.31
- 同志社大学 B⑥4:30.12 →決勝へ**
- 京都大学 B⑤4:22.07

▶レース No.27 決勝 13:08 発艇

- 同志社大学 B⑥4:32.50 →第5位**
- 同志社大学 A④4:09.75 →第4位**
- 京都大学 A②3:55.04
- 龍谷大学 2000 万パワーズ①3:54.86
- 龍谷大学③4:08.37
- 京都大学 B⑥4:34.52

●一般男子舵手付きフォア

C: 桑原康彰 S: 田中直樹 3: 芦田一郎 2: 杉浦弘樹 B: 藤岡天翔

▶レース No.10 予選 1組 10:12 発艇

- 神戸大学③3:40.30
- 京都大学医学部 紅鵬②3:38.05
- 同志社大学⑥3:52.28 →敗復へ**
- 京都大学③3:44.59
- 品川リフракトリース①3:33.44

▶レース No.25 敗復 12:44 発艇

- 同志社大学③3:53.48**
- 滋賀大学教育 天鵬④4:03.75
- 神戸大学①3:43.60
- 京都大学②3:47.44

●一般男子エイト

同志社大学 A

C: 山口弘人 S: 木村俊貴 7: 飯田海舟 6: 村田真哉 5: 中村魁
4: 久保剛 3: 尾崎俊介 2: 田川凌大 B: 末次真夏
同志社大学 B

C: 藤本亮 S: 山本幸之介 7: 神宮健輔 6: 中野知弘 5: 藤原高
4: 清水諒 3: 生駒宏武 2: 大谷文則 B: 高野敦

▶レース No.12 予選 1組 10:28 発艇

- 京都大学 B③3:18.29
- 龍谷大学①3:12.79
- 同志社大学 A④3:26.38 →敗復へ**
- 瀬田漕艇クラブ②3:14.27
- 魚崎ローイングクラブ⑤3:49.29

▶レース No.13 予選 2組 10:36 発艇

- 瀬田漕艇クラブ④4:18.55
- 神戸大学②3:12.91
- 京都大学 A①3:03.73
- 同志社大学 B③3:36.82 →敗復へ**

▶レース No.24 敗復 12:36 発艇

- 瀬田漕艇クラブ B④4:21.44
- 同志社大学 B →除外
- 京都大学 B①3:20.39
- 同志社大学 A②3:25.78**
- 魚崎ローイングクラブ③3:50.24

▶レース No.24 敗復 12:36 発艇

- 同志社大学 A⑥3:21.84 →第5位**
- 瀬田漕艇クラブ A③3:09.65
- 龍谷大学①3:07.37
- 京都大学 A②3:09.29
- 神戸大学③3:19.21
- 京都大学 B⑥3:22.75

平成28年度
関西学生秋季選手権

2016.11/4～11/6
加古川府立漕艇センター

●男子シングルスカル

▶レース No.5 予選 A組 8:40 発艇

- 的野隼人(鳥根大学)①8:07.57
- 安藤優作(同志社大学 J)③ 8:58.60 →敗復へ**
- 渡邊滋(鳥取大学 ghibli)②8:09.19

▶レース No.6 予選 B組 8:50 発艇

- 石橋和也(広島大学 B)③8:25.13
- 和田優生(大阪大学 あやめ)②8:22.59
- 澤駿太(同志社大学 A)①8:03.97 →準決勝へ**

▶レース No.7 予選 C組 9:00 発艇

- 嶋田順太(大阪大学 電艇) 棄権
- 中髙将則(大阪市立大学)①8:04.89
- 大谷文則(同志社大学 C)②8:15.71 →敗復へ**
- 棄権

第51回京都レガッタ

2016.10/16
琵琶湖漕艇場

●男子シングルスカル

▶レース No.6 予選 1組 9:40 発艇

- 安藤優作(同志社大学 F)②4:05.06 →準決勝へ**
- 中澤正浩(同志社大学 G)④4:54.27 →敗復へ**
- 武田大作(DCM ダイキ)①3:38.17
- 鈴木鋼治(セブンエイト RC 名古屋)棄権
- 市坪徹也(同志社大学 J)③4:29.14 →準決勝へ**

▶レース No.7 予選 2組 9:48 発艇

- 北野裕樹(同志社大学 C)④4:02.79 →敗復へ**
- 中村大地(円山川城崎 RC)②3:43.91
- 成蹊大学①6:59.57
- 星野夏貴(同志社大学 A)①3:43.52 →準決勝へ**
- 湯正彦(瀬田漕艇クラブ A)③3:53.54
- 成瀬諒助(瀬田漕艇クラブ B)⑤4:07.89

▶レース No.8 予選 3組 9:56 発艇

▶レース No.9 予選 4組 10:04 発艇

- 岡本晃壽(同志社大学 B)④3:51.54 →敗復へ**
- 林田睦(龍谷大学)③3:50.58
- 船田憲司(愛知東郷ボートクラブ)①3:41.92
- 岡田和歩(京都大学)②3:46.31
- 大谷鋭周(同志社大学 H)⑤4:50.94 →敗復へ**

▶レース No.9 予選 4組 10:04 発艇

- 佐武宏哉(同志社大学 D)①4:09.10 →準決勝へ**
- 吉田賢司(アックア RC)棄権
- 中溝祐樹(同志社大学 I)③5:10.43 →準決勝へ**
- 横田嶋一郎(同志社大学 E)②4:21.03 →準決勝へ**
- 成瀬諒助(瀬田漕艇クラブ B)②4:22.73
- 北野裕樹(同志社大学 C)③4:23.06 →C 決勝へ**
- 岡本晃壽(同志社大学 B)①4:16.95 →C 決勝へ**
- 中澤正浩(同志社大学 G)⑤5:16.82 →C 決勝へ**
- 大谷鋭周(同志社大学 H)④4:57.09 →C 決勝へ**

▶レース No.22 準決 1組 12:20 発艇

- 中溝祐樹(同志社大学 I)⑥4:56.27 →B 決勝へ
- 横田嶋一郎(同志社大学 E)④4:19.59 →B 決勝へ**
- 佐武宏哉(同志社大学 D)⑤4:33.86 →B 決勝へ**
- 武田大作(DCM ダイキ)①3:55.25
- 中村大地(円山川城崎 RC)②4:03.16
- 林田睦(龍谷大学)③4:09.41

▶レース No.23 準決 2組 12:28 発艇

- 市坪徹也(同志社大学 J)④4:32.04 →B 決勝へ**
- 安藤優作(同志社大学 F)⑥4:32.64 →B 決勝へ**
- 星野夏貴(同志社大学 A)③4:11.32 →A 決勝へ**
- 船田憲司(愛知東郷ボートクラブ)①4:04.16
- 岡田和歩(京都大学)②4:06.98
- 湯真彦(瀬田漕艇クラブ A)④4:14.44

▶レース No.31 C 決勝 14:20 発艇

- 大谷鋭周(同志社大学 H)④4:51.00**
- 成瀬諒助(瀬田漕艇クラブ B)③4:19.82
- 岡本晃壽(同志社大学 B)①4:02.68**
- 北野裕樹(同志社大学 C)②4:18.86**
- 中澤正浩(同志社大学 G)⑤5:03.62**
- 中溝祐樹(同志社大学 I)⑥4:56.27 →B 決勝へ
- 安藤優作(同志社大学 F)⑥4:32.64 →B 決勝へ**
- 星野夏貴(同志社大学 A)③4:11.32 →A 決勝へ**
- 船田憲司(愛知東郷ボートクラブ)①4:04.16
- 岡田和歩(京都大学)②4:06.98
- 湯真彦(瀬田漕艇クラブ A)④4:14.44

▶レース No.31 C 決勝 14:20 発艇

- 大谷鋭周(同志社大学 H)④4:51.00**
- 成瀬諒助(瀬田漕艇クラブ B)③4:19.82
- 岡本晃壽(同志社大学 B)①4:02.68**
- 北野裕樹(同志社大学 C)②4:18.86**
- 中澤正浩(同志社大学 G)⑤5:03.62**
- 中溝祐樹(同志社大学 I)⑥4:56.27 →B 決勝へ
- 安藤優作(同志社大学 F)⑥4:32.64 →B 決勝へ**
- 星野夏貴(同志社大学 A)③4:11.32 →A 決勝へ**
- 船田憲司(愛知東郷ボートクラブ)①4:04.16
- 岡田和歩(京都大学)②4:06.98
- 湯真彦(瀬田漕艇クラブ A)④4:14.44

▶レース No.32 B 決勝 14:28 発艇

- 中溝祐樹(同志社大学 I)⑥5:04.06
- 佐武宏哉(同志社大学 D)③4:31.83**
- 横田嶋一郎(同志社大学 H)②4:20.49**
- 湯真彦(瀬田漕艇クラブ A)①4:13.83
- 市坪徹也(同志社大学 J)③4:49.27**
- 安藤優作(同志社大学 F)④4:34.81**

▶レース No.33 A 決勝 14:36 発艇

- 星野夏貴(同志社大学 A)④4:00.46 →第3位**
- 岡田和歩(京都大学)⑤4:09.26
- 船田憲司(愛知東郷ボートクラブ)②3:52.52
- 武田大作(DCM ダイキ)①3:46.40
- 中村大地(円山川城崎 RC)④4:04.31
- 林田睦(龍谷大学)⑥4:17.70

●一般男子ダブルスカル S: 大谷大 B: 大慈智哉

▶レース No.2 予選 2組 9:08 発艇

- 京都大学 昂流①3:35.15
- D.H.D②3:36.23
- 神戸大学④3:49.82
- 同志社大学③3:45.48 →敗復へ**
- レース No.18 敗復 11:32 発艇**
- 神戸大学③4:10.62
- 同志社大学 A④4:29.44**
- 滋賀大学教育学部 青波①3:58.61
- 京都大学 B②4:04.61

▶レース No.97 敗復 B組 13:02 発艇

- 同志社大学③7:33.72**
- 一橋大学①6:48.30
- 京都大学②6:53.96

●男子舵手付きフォア

C: 津田邦泰 S: 澤駿太 3: 原田遥大 2: 三井敏匡 B: 松本直弥

▶レース No.47 予選 C組 14:18 発艇

- 同志社大学④7:00.53 →敗復へ**
- 東海大学①6:40.43
- 関西学院大学⑤7:09.48
- 大阪工業大学⑥6:58.55
- 京都大学②6:53.59
- 名古屋工業大学⑦7:14.98

▶レース No.108 敗復 D組 14:30 発艇

- 広島大学⑦7:16.10
- 同志社大学③7:02.80**
- 成蹊大学①6:59.57
- 大阪工業大学②7:00.14
- 金沢大学④7:09.27

●男子舵手付きフォア

C: 津田邦泰 S: 澤駿太 3: 原田遥大 2: 三井敏匡 B: 松本直弥

▶レース No.47 予選 C組 14:18 発艇

- 同志社大学④7:00.53 →敗復へ**
- 東海大学①6:40.43
- 関西学院大学⑤7:09.48
- 大阪工業大学⑥6:58.55
- 京都大学②6:53.59
- 名古屋工業大学⑦7:14.98

▶レース No.108 敗復 D組 14:30 発艇

- 広島大学⑦7:16.10
- 同志社大学③7:02.80**
- 成蹊大学①6:59.57
- 大阪工業大学②7:00.14
- 金沢大学④7:09.27

●一般男子エイト

C: 桑原康彰 S: 櫻間達也 7: 大森健太 6: 藤原駿也 5: 黒田宗一郎
4: 中來田悠介 3: 久保剛 2: 田井哲朗 B: 石田大知

▶レース No.57 予選 A組 15:38 発艇

- 仙台大学①5:53.40
- 早稲田大学②5:58.16
- 同志社大学⑥6:17.28 →敗復へ**
- 名古屋大学④6:14.25
- 一橋大学③5:58.59

▶レース No.116 敗復 B組 15:34 発艇

- 同志社大学③6:17.44**
- 一橋大学①6:00.93
- 京都大学②6:05.55
- 滋賀大学経済学部⑥6:29.50

第56回
オックスフォード盾レガッタ

2016.9/24～9/25
戸田ボートコース

●一般男子エイト 同志社大学 A：

C: 山口弘人 S: 木村俊貴 7: 松坂滯 6: 安藤優作 5: 藤原高
4: 山本幸之介 3: 中澤正浩 2: 大谷鋭周 B: 末次真夏

▶レース No.126 予選B組 8:38 発艇

- 横浜漕艇倶楽部埼玉⑥7:30.88
- 大阪府立大学①6:37.11
- 同志社大学 A④7:07.14 →敗復へ**
- 関西学院大学③6:44.22
- 九州大学②6:43.99

▶レース No.167 敗復A組 15:08 発艇

- 早稲田大学理工漕艇部⑦7:24.44
- 神戸大学②6:58.10
- 大阪大学①6:49.09
- 同志社大学 A③7:10.87**

●一般男子エイト 同志社大学 B：

C: 藤本亮 S: 神宮健輔 7: 生駒宏武 6: 北野裕樹 5: 田川凌大
4: 大谷大 3: 尾崎俊介 2: 中野知弘 B: 阪悠樹

▶レース No.131 予選G組 9:18 発艇

- 東京大学④7:07.65
- 同志社大学 B③7:05.19 →敗復へ**
- 一橋大学 A①6:33.95
- 石巻エイト同好会⑤7:25.65
- 大阪大学②6:36.30
- レース No.169 敗復C組 15:24 発艇**
- 同志社大学 B③6:55.49**
- 成蹊大学②6:32.91
- キラーホエール④7:11.86
- 一橋大学 B①6:30.80

第43回
全日本大学選手権大会

2016.9/22～9/25
戸田ボートコース

●男子シングルスカル 阿部正典

▶レース No.14 予選 B組 9:40 発艇

- 阿部正典(同志社大学)①7:36.59 →準決勝へ**
- 今岡佑(大阪府立大学)④8:05.13
- 能勢昂尚(大阪大学)③7:57.72
- 萩野皓介(中央大学理工学部)⑥8:34.24
- 田中楓聖(追手門学院大学)⑧8:18.04
- 山本隆太(九州大学)②7:42.02

▶レース No.138 準決勝B組 10:24 発艇

- 井上裕達(東京工業大学)④7:53.95
- 古米峻知(日本大学)①7:38.08
- 阿部正典(同志社大学)②7:47.61 →順位決定戦へ**
- 田畑将太郎(中央大学)③7:51.43

▶レース No.182 順位決定 8:32 発艇

- 坂田健(熊本大学)④7:52.58
- 本間光夫(仙台大学)②7:37.04
- 阿部正典(同志社大学)⑦7:44.86 →第7位**
- 斎藤慶太郎(東北大学)①7:35.41

●男子舵手なしレア S: 古賀寛之 B: 平田耕一

▶レース No.4 予選 D組 8:00 発艇

- 同志社大学②7:26.13 →敗復へ**
- 京都大学②7:31.43
- 名古屋大学③7:29.77
- 東海大学①7:10.35

▶レース No.66 敗復 D組 8:20 発艇

- 名古屋大学②7:36.32
- 明治大学②7:33.68
- 同志社大学①7:23.98 →準決勝へ**
- 滋賀大学教育学部④7:59.92

▶レース No.122 準決 B組 8:00 発艇

- 金沢大学②7:23.29
- 一橋大学①7:06.15
- 同志社大学②7:18.41 →順位決定戦へ**
- 名古屋工業大学④7:33.41

▶レース No.180 順位決定 08:12 発艇

- 同志社大学③7:22.02 →第7位**
- 日本大学①7:16.91
- 中央大学②7:20.99
- 同志社大学③7:53.06 →敗復へ**
- 東京経済大学⑦7:25.05

●女子ダブルスカル S: 西田樹乃 B: 齋藤暢子

▶レース No.22 予選 B組 10:58 発艇

- 立教大学②7:43.49
- 大阪市立大学③8:06.18
- 鳥取大学①7:43.12
- 松山大学⑤8:23.29
- 同志社大学③7:53.06 →敗復へ**
- レース No.85 敗復 C組 11:26 発艇**
- 東北大学③8:02.93
- 早稲田大学①7:39.23
- 同志社大学②7:59.69 →準決勝へ**
- 大阪市立大学③8:18.85

▶レース No.146 準決勝 D組 11:38 発艇

- 早稲田大学⑦7:43.47
- 鳥取大学③8:01.53
- 仙台大学②7:55.81
- 同志社大学③8:03.96**

●男子舵手なしクドルブル

S: 中村魁 3: 岡本晃壽 2: 宮田将平 B: 星野夏貴

▶レース No.40 予選 B組 13:22 発艇

- 鹿屋体育大学⑦7:04.69
- 早稲田大学②6:33.08
- 日本大学①6:17.85
- 同志社大学③6:42.19 →敗復へ**
- 熊本学園大学⑤7:41.25
- レース No.101 敗復 B組 13:34 発艇**
- 東京医科歯科大学⑤7:19.58
- 同志社大学③6:44.40**
- 慶應義塾大学②6:42.57
- 岐阜経済大学①6:35.02
- 新潟大学⑦7:01.12

●男子舵手なしフォア

S: 村田真哉 3: 高野敦 2: 大谷文則 B: 横田嶋一郎

▶レース No.36 予選 B組 12:50 発艇

- 立教大学①6:15.25
- 名古屋大学④7:01.84
- 東北大学②6:36.60
- 同志社大学③7:00.65 →敗復へ**

▶レース No.59 敗復 2組 17:20 発艇

- 関西学院大学③6:57.31
- 同志社大学 A②6:55.13 →準決勝へ**
- 富山国際大学①6:52.45
- 滋賀大学経済学部 B④7:18.85

▶レース No.60 敗復 3組 17:30 発艇

- 広島大学「飛龍」④7:04.19
- 広島大学「蒼龍」③6:58.03
- 同志社大学 B①6:51.83 →準決勝へ**
- 金沢大学 A②6:53.83

▶レース No.90 準決勝 2組 12:30 発艇

- 同志社大学 A②6:45.79 →決勝へ**
- 大阪大学 A③6:52.69
- チーム愛媛①6:39.07
- 大阪大学 B⑤6:57.38
- 富山国際大学④6:55.25

▶レース No.91 準決勝 3組 12:40 発艇

- 関西大学③6:43.47
- 大阪工業大学 A②6:41.35
- 龍谷大学①6:38.39
- 同志社大学 A⑥6:54.42**

▶レース No.102 決勝 1組 14:44 発艇

- 同志社大学 A⑤6:43.82 →第5位**
- 大阪工業大学 A⑥6:48.83
- 龍谷大学①6:21.50
- チーム愛媛②6:23.86
- 京都大学④6:35.77
- 一橋大学③6:34.28

●一般男子舵手なしレオドルブル

S: 西川修真 3: 村田真哉 2: 中村魁 B: 松坂滯

▶レース No.63 予選 1組 7:54 発艇

- 同志社大学②6:41.43 →決勝へ**
- 名古屋大学③6:51.86
- 岐阜経済大学①6:22.71

▶レース No.98 決勝 1組 14:04 発艇

- 同志社大学④6:27.17 →第4位**
- 立命館大学⑤6:28.80
- 富山国際大学①6:07.09
- 岐阜経済大学③6:19.89
- 龍谷大学②6:09.07



快適レスポンス、爽快ツーリング。

なれない道を走り緊張をとまなう長距離ツーリング、でもレスポンスの軽快さに心が踊る、これならどこまでだって走っていける。



アクセルワークが変わる！
ライトライディングチェーン



D.I.D®

チェーンの「歪み」「たわみ」を制御する新設計で、より直感的な操作が可能となりました。

長寿命でロングツーリングも安心

D.I.D特許のX-リング採用により、従来のO-リングタイプより約1.4倍以上の摩耗寿命を実現。

燃費にも好影響

D.I.D独自のシール形状採用で、フリクションロスを50%削減。
(真正相当O-リング比)

軽快な操作感

VXシリーズはレースに採用される技術をフィードバックし、チェーンにかかる応力値を最適化する事で軽快な操作感「ライトライディング」を生むストリート用チェーン。全てのライダーとあらゆるフィールドにマッチする新世代のチェーンです。



大同工業株式会社
大阪支社/〒542-0081 大阪市中央区南船場2-12-12(新家ビル)TEL.06-6251-2028 FAX.06-6258-3230
●商品のご購入はお近くのバイクショップ、又はバイク部品販売店にご相談下さい。●掲載商品は撮影、印刷の関係で実際の色とは異なって見えることがあります。●仕様など改良のため、予告なく変更する場合があります。

www.didmc.com



おいしい薪窯ピザやパスタ、あります。

薪窯キッチン ペロッタ

〒520-2142 滋賀県大津市玉野浦 6-1 びわ湖漕艇場内
tel 077-544-1099

open / 11:00～15:00 (L.O. 14:30)・17:30～22:00 (L.O. 21:30) closed / 火曜日

*駐車場あります *宴会・貸切 OK!

ブログもやっています。



焼肉のフルコース 世界一周

近江牛 麗門 駅前店

REIMON

<http://www.reimon8929.com/>

営業時間：夜 17:00～23:00 (L.O.22:00)

TEL 077-537-3700

滋賀県大津市栗津町 8-1 (JR 石山駅前)

喫茶 & 食事

TOLEO

MUROMACHI KAMIDACHORI



室町上立売ビル

●女子舵手付きクドルブル C: 龍重航 S: 宇佐見海紀 3: 福井彩夏 2: 竹本咲良 B: 高瀬絵留萌	▶レース No.92 順位決定戦 9:00 発艇 1. 伊津奈織(鳥取大学)②9:29.52 2. 高田菜々子(神戸大学 B)④9:58.82 3. 齋藤暢子(同志社大学 B)①9:23.28 →第5位 4. 本多真子(神戸大学 C)③9:54.48	▶レース No.8 予選 D 組 9:10 発艇 1. 大森健太(同志社大学 F)②8:06.97 →敗復へ 2. 石田陸(愛媛大学 茶祖)①7:53.91 3. 照内秀和(追手門学院大学 B)③8:55.42 4. 棄権
▶レース No.36 予選 B 組 14:18 発艇 2. 大阪市立大学 B③7:43.39 3. 同志社大学②7:39.34 →敗復へ 4. 岡山大学「高島」①7:19.52	▶レース No.93 決勝 A 組 9:10 発艇 1. 西田樹乃(同志社大学 A)②9:00.35 →準優勝 2. 中川恭子(大阪市立大学)③9:09.86 3. 藤尾美慧(大阪府立大学 AURA)①8:52.45 4. 勝治友紀子(神戸大学 A)④9:51.76	▶レース No.9 予選 E 組 9:20 発艇 1. 吉永翔一郎(近畿大学 B)②8:17.30 2. 三浦圭祐(愛媛大学)棄権 3. 市坪徹也(同志社大学 E)③8:40.95 →敗復へ 4. 藤島大樹(広島大学 A)①7:55.37
▶レース No.67 敗復 A 組 11:26 発艇 2. 同志社大学②7:37.91 3. 関西学院大学①7:26.91 4. 大阪市立大学 B③7:45.71	●男子ダブルスカル 同志社大学 A : S: 星野夏貴 B: 岡本晃壽 同志社大学 B : S: 末次真夏 B: 木村俊貴 同志社大学 C : S: 大慈智哉 B: 北野裕樹	▶レース No.10 予選 F 組 9:30 発艇 1. 澤野耕大(近畿大学 A)①7:48.00 2. 大橋正義(滋賀大学教育学部 弁慶)②8:57.30 3. 中溝祐樹(同志社大学 I)③9:34.59 →敗復へ 4. 増田良祐(大阪市立大学)棄権
▶レース No.39 予選 A 組 14:42 発艇 1. 同志社大学 A③6:09.32 →敗復へ 2. 大阪府立大学 鳳麟②6:04.32 3. 関西学院大学①5:55.97 4. 関西大学 棄権	▶レース No.18 予選 C 組 10:50 発艇 1. 広島大学 C①6:38.84 2. 大阪府立大学 A②6:44.97 3. 滋賀医科大学 A 棄権 4. 同志社大学 B③7:11.81 →敗復へ	▶レース No.12 予選 H 組 9:50 発艇 1. 岡田将俊(大阪工業大学)①7:40.81 2. 田中楓聖(追手門学院大学 A)③8:04.01 3. 林智也(大阪市立大学)棄権 4. 佐武宏哉(同志社大学 B)②7:57.18 →敗復へ
▶レース No.71 敗復 B 組 11:58 発艇 2. 同志社大学 A①6:03.21 →準決勝へ 3. 大阪工業大学②6:04.37	▶レース No.19 予選 D 組 11:00 発艇 1. 大阪府立大学 天鵝②6:46.77 2. 岡山大学 晴波③6:59.33 3. 島根大学 B④7:35.73 4. 同志社大学 A①6:41.43 →準決勝へ	▶レース No.45 敗復 A 組 15:36 発艇 2. 照内秀和(追手門学院大学 B)②8:04.68 3. 佐武宏哉(同志社大学 B)①7:43.89 →準決勝へ 4. 大橋正義(滋賀大学教育学部 弁慶)③8:24.99
▶レース No.107 順位決定戦 11:30 発艇 1. 同志社大学 A④6:55.06 →第8位 2. 岡山大学 TREASURE①6:44.89 3. 大阪大学③⑥6:51.09 4. 大阪府立大学 鳳麟②6:49.63	▶レース No.21 予選 F 組 11:20 発艇 1. 追手門学院大学 B④7:44.46 2. 広島大学 B①6:49.86 3. 同志社大学 C③7:15.29 →敗復へ 4. 大阪工業大学 A②7:07.37	▶レース No.46 敗復 B 組 15:46 発艇 2. 市坪徹也(同志社大学 E)③7:58.20 3. 小田哲平(大阪府立大学 檜樺)①7:44.79 4. 安藤優作(同志社大学 J)②7:46.61
●男子エイト 同志社大学 B C: 藤本亮 S: 神宮健輔 7: 藤原高 6: 中野知純 5: 横田颯一郎 4: 山本幸之介 3: 田川凌大 2: 村田真哉 B: 生駒宏武	▶レース No.53 敗復 A 組 9:20 発艇 2. 関西学院大学 B③7:48.45 3. 広島大学 A①7:15.56 4. 同志社大学 B②7:46.79	▶レース No.47 敗復 C 組 15:56 発艇 2. 石橋和也(広島大学 B)①7:35.35 3. 小笠原瑞太(広島大学 C)②7:50.01 4. 中溝祐樹(同志社大学 I)③8:41.40
▶レース No.40 予選 B 組 14:50 発艇 1. 京都大学①5:58.13 2. 大阪大学②⑥6:03.95 3. 同志社大学 B ③6:13.10 →敗復へ 4. 甲南大学④6:21.94	▶レース No.55 敗復 C 組 9:40 発艇 2. 滋賀大学教育学部 青波②4:21.21 3. 大阪府立大学 飛鶴①4:18.71 4. 同志社大学 C③4:31.19	▶レース No.49 敗復 E 組 16:16 発艇 2. 吉永翔一郎(近畿大学 B)②7:48.87 3. 大森健太(同志社大学 F)①7:24.77 →準決勝へ
▶レース No.70 敗復 A 組 11:50 発艇 2. 同志社大学 B②6:04.44 3. 岡山大学 TREASURE①6:02.35 4. 甲南大学③6:15.84	▶レース No.98 順位決定戦 10:00 発艇 1. 広島大学 B②7:58.13 2. 同志社大学 A①7:54.72 →第5位 3. 京都大学 C④8:11.50 4. 大阪府立大学 A③8:08.54	▶レース No.50 敗復 F 組 16:26 発艇 2. 大谷文則(同志社大学 G)①7:29.02 →準決勝へ 3. 渡邊滋(鳥取大学 ghibli)②7:31.38
	●男子舵手付きフォア C: 桑原康彰 S: 三井敏匡 3: 芦田一郎 2: 田中直樹 B: 藤岡天翔	▶レース No.74 準決 A 組 13:20 発艇 1. 和田優生(大阪大学 蒼穹)③7:35.60 2. 的野真人(島根大学)④7:48.18 3. 岡田将俊(大阪工業大学)①7:20.55 4. 大森健太(同志社大学 F)②7:25.23 →順位決定戦へ
	▶レース No.29 予選 A 組 13:22 発艇 2. 島根大学 疾①6:51.96 3. 大阪大学 八②6:52.38 4. 同志社大学③7:10.61 →敗復へ	▶レース No.75 準決 B 組 13:30 発艇 1. 渡邊滋(鳥取大学 ghibli)②7:32.98 2. 中島将訓(大阪市立大学)棄権 3. 齋藤涉(大阪府立大学 booster)①7:28.64 4. 大谷文則(同志社大学 C)③7:39.82
	▶レース No.64 敗復 B 組 11:02 発艇 2. 同志社大学②7:01.19 3. 京都大学①7:00.05 4. 甲南大学③7:18.82	▶レース No.76 準決 C 組 13:40 発艇 1. 小田哲平(大阪府立大学 檜樺)④7:48.18 2. 澤駿太(同志社大学 A)③7:39.87 3. 澤野耕大(近畿大学 A)①7:28.64 4. 田中楓聖(追手門学院大学 A)②7:32.98
		▶レース No.77 準決 D 組 13:50 発艇 1. 佐武宏哉(同志社大学 B)④8:02.27 2. 藤島大樹(広島大学 A)②7:15.20 3. 石田陸(愛媛大学 茶祖)①7:11.65 4. 石橋和也(広島大学 B)③7:33.00
		▶レース No.94 順位決定戦 9:20 発艇 1. 田中楓聖(追手門学院大学 A)②8:36.90 2. 大森健太(同志社大学 F)③8:41.98 →第7位 3. 藤島大樹(広島大学 A)①8:26.40 4. 渡邊滋(鳥取大学 ghibli)④10:57.15
		●女子シングルスカル
		▶レース No.2 予選 B 組 8:10 発艇 1. 山本昌奈(関西大学 B)棄権 2. 青谷紘子(滋賀大学教育学部 凧)②9:10.90 3. 齋藤暢子(同志社大学 B)①9:00.17 →準決勝へ 4. 伊藤梨奈(大阪市立大学)③9:24.52
		▶レース No.3 予選 C 組 8:20 発艇 1. 吉良優那(愛媛大学)④9:47.99 2. 西田樹乃(同志社大学 A)②8:47.02 →敗復へ 3. 高田菜々子(神戸大学 B)③9:24.25 4. 藤尾美慧(大阪府立大学 AURA)①8:42.87
		▶レース No.42 敗復 A 組 15:06 発艇 2. 伊藤梨奈(大阪市立大学)②8:23.11 3. 西田樹乃(同志社大学 A)①8:07.78 →準決勝へ 4. 吉良優那(愛媛大学)③8:46.46
		▶レース No.72 準決 A 組 13:00 発艇 1. 伊津奈織(鳥取大学)④8:30.61 2. 本多真子(神戸大学 C)③8:25.23 3. 藤尾美慧(大阪府立大学 AURA)①7:58.58 4. 西田樹乃(同志社大学 A)②8:07.46 →決勝へ
		▶レース No.73 準決 B 組 13:10 発艇 1. 勝治友紀子(神戸大学 A)②8:02.14 2. 齋藤暢子(同志社大学 B)③8:04.57 →順位決定戦へ 3. 中川恭子(大阪市立大学)①8:01.63 4. 高田菜々子(神戸大学 B)④8:10.84



平成28年度 ボート部にご支援いただいた皆様

いつもご支援ありがとうございます。来年度もよろしくお願い申し上げます。

昭和 29 年卒	昭和 54 年卒	昭和 61 年卒	平成 6 年卒	平成 14 年卒	平成 23 年卒
村井 利康	木村 俊雄 高橋 正樹	川崎 五代嗣 高下 康治	押領司 哲也 木内 良典	山田 篤	園田 真大 菊池 修一郎
昭和 35 年卒	村田 市郎 小笠原 司 藤井 浩	磯田 秀樹 谷川 真司 安田 智雄 田中 義力	喜多 栄太 竹内 秀暢 中澤 郁男 中西 孝夫	平成 15 年卒	今関 将太 打它 晃 木下 啓史 木下 伸也
昭和 40 年卒	昭和 55 年卒	昭和 62 年卒	早坂 真一 藤井 啓宏 堀内 昭宏 松城 敬	平成 16 年卒	森福 将之 福重 太郎 田中 克弥 西本 孝志
石本 君夫 池田 宜郎	小関 隆一 益田 秀仁 井頭 感 水野 正成 玄道 秀則 桜井 隆夫	奥谷 勇人 高橋 良明 樋口 健一郎 屋久 浩典 藤田 哲哉 志賀 理	余谷 有紀枝	今東 俊雄 中村 洋太郎 堀内 康武 松尾 智之 村井 亮	池田 ひかる 今井 文美 奥 知里 大澤 成美
昭和 41 年卒	昭和 42 年卒	昭和 63 年卒	平成 7 年卒	平成 17 年卒	平成 24 年卒
大宮 久	長友 毅喜	阿江 克彦 斎藤 繁明 原 一雅 平松 靖之	佐伯 明 伊藤 崇 小吹 悟	岡田 大介 家弓 正史 行實 幹人 岡田 綾子	畑田 聖 加藤 駿 中村 康治郎 濱島 昌輝 上田 奈保子 千原 奈美 川島 希紗
昭和 45 年卒	昭和 46 年卒	平成元年卒	平成 8 年卒	平成 18 年卒	
金澤 重光 新井 喜範	稲垣 茂春 大橋 行正 佐々木 譲 鈴木 文治 宮川 滋	関谷 晴彦 石田 政隆 大島 昭子 井上 周一	岡本 和彦 木原 聡 小林 賢史 武田 知也 白田 圭助 山田 寛幸 渡辺 将常 薄 真理 神能 由美子 高橋 彩 吉野 光治 押谷 菊治	野上 慶子	
昭和 47 年卒	昭和 48 年卒	平成 2 年卒	平成 9 年卒	平成 19 年卒	平成 25 年卒
横山 基嗣	山口 俊郎	朝倉 伸二 石橋 雅信 坂本 竜一 島田 恭典 北村 正樹 配川 隆司 朝倉 優子	奥 哲史 藤井 周子 関根 佐和子 渡辺 綾子	角谷 明彦 高寄 崇 中村 周作 古池 美岐 市川 亜貴 真部 裕香里	南出 貴裕 鈴木 直道 中田 幸祐 谷田 浩毅 長畑 真実 湯山 愛 高橋 美帆
昭和 49 年卒	昭和 50 年卒	平成 3 年卒	平成 10 年卒	平成 20 年卒	平成 26 年卒
小松 研一 植西 信子 楠戸 俊宣 花森 節夫	宮地 信行 鎌田 博 植野 誠之 上田 達彦 早川 勝	乾 健治 岡田 太一郎 小原 隆史 重松 健一 神原 雅也 佐藤 将人 杉山 伸 津嶋 泰 三上 和彦 安達 祥子	有馬 誠生 石橋 欣也 岩田 勇人 岡前 秀彦 渋谷 一郎 高橋 功 内藤 竜一 中原 輝宣	津村 一平 片岡 勇人 堀内 知里 塩屋 沙織	池本 雅基 万木 恭介 檜垣 聡志 安原 唯菜 谷井 沙衣 西川 亜希
昭和 51 年卒	昭和 52 年卒	平成 4 年卒	平成 11 年卒	平成 21 年卒	平成 27 年卒
湊 良三 武尾 豊 湊 裕子	荻野 義明 中野 貴夫 矢島 正恒 河畑 宣伸 馬杉 淳一	谷 昌二郎 小林 重之 小田切 拓 加藤 康 功力 英俊 勝本 肇 吉田 拓生 米山 尚吾	網嶋 雄一郎 中島 千尋	川口 正嗣 瀬川 敏克 有木 良輔 河合 弘貴 川渕 智貴 金野 裕輝 内藤 毅人 北野 万里香	日比野 聖司 君和田 剛大 丸尾 拓也 佐藤 拓朗 太田 圭佑 川村 佳苗 三島 奈々 新垣彩実
昭和 53 年卒	昭和 59 年卒	平成 5 年卒	平成 12 年卒	平成 22 年卒	平成 28 年卒
桶田 英俊	米村 康弘 谷口 幸一 作間 秀樹 松本 収平	内田 琢也 原田 昌彦 井上 賢二	高橋 輝 若杉 圭	千原 第資 三谷 大輔 大沼 茂彬 佐藤 勇樹	今富 圭一 中小路 悟 平井 貴大 入村 悠 大隅 清貴 葉山 顕祥 政井 克哉 松村 啓介 山田 高輝 川野 由季 勝島 愛

編集後記

この度は大変多くの方々にご協力をいただき、無事に『力漕』第24号を発刊できましたことを大変感謝致します。今回で私が『力漕』の作成に携わるのは3回目となり、感慨もひとしおです。

『力漕』は、その1年間の現役の活動の様子をOB・OGの方々に伝えるだけでなく、インタビュなどさまざまなご協力をいただくことでOB・OGの方々のご現役部員にも伝えることができる良い機会になると実感しています。会話の中でも伝え合うことはできますが、このように紙媒体として、毎年現役部員や諸先輩方の言葉を残しているということはとても大事なことであり、その制作に携わることができるのは広報としてのやりがいのひとつであると感じております。そして同志社大学ボート部は多くの方々のご協力の元活動することができているのだということを改めて実感致しました。

『力漕』を制作するにあたり、多大なるご支援・ご協力くださいましたOB・OGの諸先輩方、各企業の皆様、地元商店の皆様、コーチ・監督の皆様にご心より感謝申し上げます。

今年度も部員一同頑張つて参りますので温かいご支援・ご声援の程よろしく申し上げます。

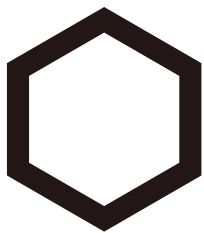
4 回生広報 近藤晴子・山口真奈



この度、大変多くの方々のご協力をいただき、『力漕』第24号を発行することができました。深く御礼申し上げます。今回の『力漕』制作を通して、ボート部の繋がりの強さとともに、今ある環境がどれほどありがたいものを実感できました。艇友会インタビュではOBの方々のボートへの熱意や当時の様子を聞かされたとき、大変多くのことを学ぶことができました。当時と比べて人数も増え、皆様の温かいご支援のもと、ボート部の環境は随分良くなりました。今の私たちには綺麗な合宿所や艇庫があり、多くの艇があります。レースがあれば、必ず応援に来て下さるOB・OGの方々、そして家族がいます。この環境は当たり前ではないということを忘れず、支えて下さる皆様に感謝し活動していきます。

最後になりましたが、当部報の発行にあたり、編集担当をしていただいた楠様をはじめ、広告掲載にご協力いただいた地元商店の皆様、各企業の皆様、お忙しい中原稿をお寄せ下さった志賀部長、武田監督、コーチの方々、インタビュにご協力下さった金澤先輩、河畑先輩、そして諸先輩方に心より御礼申し上げます。過去最大規模の組織となった同志社大学ボート部は、皆様の期待に応えられるよう、さらに強いチームを目指して努力し続けます。今後とも変わらぬ温かいご声援の程、宜しくお願い致します。

3 回生広報 園三紗都・亀井美紀子



世界を健康に。

K.O.PROJECT.,Ltd

www.koproject.co.jp

※敬称略 ※艇友会費を納入いただいた方および寄付金をいただいた方を掲載しています。

ナジック・アイ・サポートは、 学生の働くを応援しています！

株式会社ナジック・アイ・サポートは、東証一部上場の東急不動産ホールディングス株式会社のグループ企業として、学生の「働く」を応援する事業を推進しています。
学生と学校、社会を繋ぐベストパートナーとして、全国245校の大学・短大・専門学校公認の学校別アルバイト情報WEBサイト「学生アルバイト情報ネットワーク(aines)」の運営、有給インターンシップ事業の推進、学生のアルバイト支援や就職支援など、学生のためのサポートを展開しています。

同志社大学専用のアルバイト情報サイト「**aines** (アイネス)」で
クラブ活動や授業と両立できる、安心・安全なアルバイトを探そう！

特徴 I

学校が定めた規約で事前審査を行い、ブラックバイト求人を排除しています。

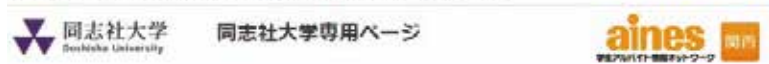
特徴 II

学内のお仕事や学校推薦の学外非公開アルバイト情報が掲載されています。

特徴 III

試験監督やイベントスタッフなど、短期アルバイトの求人情報が満載です。

aines(アイネス)は学校(大学・短大・専門学校)別のアルバイト情報サイトです



総合TOP > 学校TOP



同志社大学専用ページ



<https://www.aines.net/doshisha/>

リアルな自己分析とライブな業界研究ができる、
中長期型有給インターンシップ「ワークプレイスメント」



アルバイトするなら、自分のためになり、自分の成長が実感できる有給インターンシップに参加してみませんか。

ワークプレイスメントの特徴

1. 時給は通常のアルバイトと同等以上の水準
2. 単純労働ではない、教育的効果のあるプログラム
3. 社員が働く実際の職場で、疑似体験ができる
4. 学生ひとりひとりをキャリアカウンセラーがサポート
5. 個人情報保護は保護され、保険もあるから安心
6. 就活の自己PRに説得力が増し、自身が持てる

学生
留学生

有給インターンシップ

受入
企業



雇用契約

派遣契約

Na'ic

ナジック・アイ・サポート

労働者派遣の仕組みを活用し、労働関連法令を遵守して運用しています。
住所や電話番号、メールアドレスといった個人を特定する情報はインターンシップ先企業には提供されません。また、民間の損害保険や労災が適用されるので、何かあった時も安心です。

Na'ic 株式会社ナジック・アイ・サポート

学生情報センターグループ

労働者派遣事業許可番号: 派27-060097 有料職業紹介事業許可番号: 27-ユ-301204

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-4-20 中央ビル2F 電話: 0120-749-155 E-mail: info-osk@nasic-is.co.jp



同志社大学ボート部 理念

ボート競技を通じ
知・徳・体の涵養に努め、
良心に満ち溢れ
自治自立の精神を備えた
有為な人材を輩出することにより
社会に貢献する。



日本代表※選手団が 手にしたプロテイン。

プロテイン1回分を、
この1本で。
しかもそのまま飲める。



1回分わずか

約**4g**で

一般的なプロテインと
同様なカラダづくりが
期待できる

一般的な
プロテイン



約15~20g
(スプーン2~3杯分)

「アミノバイタル
アミノプロテイン」



スティック1本
約4g

たったの 約**17kcal**

一般的な
プロテイン



おにぎり1.7個分*
(約300kcal)

「アミノバイタル
アミノプロテイン」



おにぎり約0.1個分
(約17kcal)

* 1回分(約20g)を300mlの牛乳に溶かした場合 5訂食品成分表より

簡単に飲めるから
タイミングを逃さない



直接飲む



シェイク不要

**amino
VITAL** アミノバイタル

アミノバイタル アミノプロテイン



※「アミノバイタル」は、競泳日本代表の公式栄養補助食品です。

ドラッグストア、スポーツ店、通信販売等でお買い求めください。

※店舗によって一部取り扱いが無い商品もございます。

詳しくはWEBへ

アミノバイタル 検索